

# 簡易マニュアル

リアルタイムCGM機能については、別冊の「リアルタイムCGM簡易マニュアル（ミニメド 640G システム用）」をご確認ください。



## ロクヨンマルジー ミニメド640Gインスリンポンプ

本マニュアルは、ユーザガイドにかわるものではありません。

安全な使用のため、より詳細な情報および取り扱い方法については必ず添付文書とユーザガイドをご確認ください。

製品の仕様変更に伴い、内容が変更される可能性があります。

2019年12月作成

Medtronic



# 目次

## ロクヨンマルジー ミニメド 640G インスリンポンプ簡易マニュアル

はじめに .....	2
------------	---

### 簡易マニュアル 3

<b>セクション 1:</b> ポンプの基本事項 .....	4	<b>セクション 6:</b> 基礎レートの設定 .....	18
<b>セクション 2:</b> スタートウィザード .....	6	最大基礎レートの設定 .....	18
<b>セクション 3:</b> ホーム画面 .....	8	基礎レートパターンの設定 .....	19
ステータスバー .....	9	基礎レートのその他の機能 .....	29
<b>セクション 4:</b> メニュー .....	11	<b>セクション 7:</b> ボーラスの設定 .....	32
メニュー・マップ .....	12	最大ボーラスの設定 .....	32
<b>セクション 5:</b> 主要なメニュー項目 .....	14	ボーラス増減幅の設定 .....	33
音/バイブ設定 .....	14	マニュアルボーラスの注入開始 .....	34
表示オプション .....	15	ボーラス・ウィザードの設定 .....	37
注入一時停止と再開 .....	16	ボーラス履歴の確認 .....	44
		履歴メニューからのボーラス履歴の確認 .....	45

### リザーバとチューブの交換 47

リザーバと注入セットの交換 .....	48
---------------------	----

### その他の機能 51

<b>セクション 1:</b> 履歴メニュー .....	52	<b>セクション 3:</b> イベントマーク .....	68
<b>セクション 2:</b> その他のインスリンの設定 .....	53	<b>セクション 4:</b> タイマー .....	69
プリセット一時基礎の設定 .....	53	<b>セクション 5:</b> ユーティリティ .....	75
プリセットボーラスの設定 .....	55	<b>セクション 6:</b> アラートとアラーム .....	77
デュアル/スクエアウェーブボーラスの設定 .....	57		
イージーボーラス .....	63		
自動一時停止の設定 .....	65		
ボーラス注入速度の設定 .....	67		

### ポンプ操作の早見表 79

インスリンポンプ設定ガイド .....	80
基礎レートに関する早見表 .....	81
ボーラス・ウィザードに関する早見表 .....	83
クイックセット注入セットの交換 .....	85

# はじめに

## ミニメド640Gインスリンポンプの使用にあたって

本マニュアルは、ミニメド640Gインスリンポンプ（以下、ポンプ）について紹介し、製品を安全に安心して使用するために、簡易的に使用方法を説明するものです。より詳細な情報および取扱方法については、必ず添付文書とユーザガイドを確認してください。

- ポンプの操作中に間違ったボタンを押した場合は、➡で前の画面に戻ってやり直してください。
- 一定時間ボタンに触れずに入ると、ポンプ画面の表示が消えます。その場合は、ポンプのいずれかのボタンを押すことで再度画面が表示されます。
- ポンプの画面表示が消えるまでの時間は、「表示オプション」（本マニュアル15ページ）で変更できます。



「重要」マーク



「チェックポイント」マーク



「備考」マーク



**重要：**本製品を安全に、安心して使用するために、一通りの手順を練習してから使用することを推奨します。

# 簡易マニュアル

<b>セクション1</b>	ポンプの基本事項	4
<b>セクション2</b>	スタートウィザード	6
<b>セクション3</b>	ホーム画面	8
	ステータスバー	9
<b>セクション4</b>	メニュー	11
	メニュー・マップ	12
<b>セクション5</b>	主要なメニュー項目	14
	音/パイプ設定	14
	表示オプション	15
	注入一時停止と再開	16
<b>セクション6</b>	基礎レートの設定	18
	最大基礎レートの設定	18
	基礎レートパターンの設定	19
	基礎レートのその他の機能	29
<b>セクション7</b>	ボーラスの設定	32
	最大ボーラスの設定	32
	ボーラス増減幅の設定	33
	マニュアルボーラスの注入開始	34
	ボーラス・ウィザードの設定	37
	ボーラス履歴の確認	44
	履歴メニューからのボーラス履歴の確認	45

## セクション1：ポンプの基本事項

ポンプの基本事項を確認しましょう。

### ■ ポンプの前面

#### Ⓐ 「上、下、左、右」ボタン

- メニューやリストを上下にスクロールする場合に押します。
- 数値を変更する場合に押します。

#### Ⓑ 「戻る」ボタン

- 前の画面に戻る場合に押します。
- 長押しすると、ホーム画面に戻ります。

#### Ⓒ 「決定」ボタン

- 強調表示(黄色)されている数値やメニュー項目を選択したり、確定する場合に押します。

#### Ⓓ 「メニュー」ボタン

- メニュー項目を表示する場合に押します。

### ● 通知ライト

- アラートやアラームが発生した場合に点滅します。



**重要：**ポンプ前面には通知ライトの他に輝度調整センサもついています。  
前面のデコレーション等はお控えください。

ベルトクリップ	ポンプの裏面
 <p>ベルトクリップは、ポンプの裏面に取り付け、衣服の下またはベルトにポンプを装着するために使用します。 ベルトクリップ先端部は、ポンプの電池カバーを開けられるように設計されています。詳しくは、ベルトクリップに同梱される説明書を参照してください。</p>	 <p>ポンプのシリアル番号と製品番号 日本メドトロニック24時間サポートラインに電話した際に、これらの番号が必要になることがあります。</p>

## ■スキンズの取り付け

スキンズは、ポンプの裏面とベルトクリップの前面に貼り付けることができます。スキンズには、ポンプ表面に傷がつきにくくする役割があります。スキンズ付属の説明書に従い、ポンプに貼り付けてください。



## ■電池の挿入

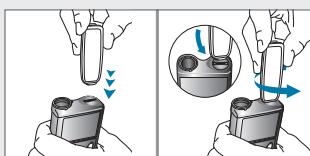
ポンプは、単3形電池で作動します。リチウム電池、アルカリ電池、充電池の単3形を使用することができます。ただし、**マンガン電池は使用しないでください**。ポンプには必ず新品、または完全に充電された電池を挿入してください。電池を挿入しポンプを始動させるには、次のものが必要です。

- 付属品に含まれているベルトクリップ
- 単3形電池(新品、もしくは完全に充電されたもの)



**重要:** ①単3形電池は新品、もしくは完全に充電されたものを使用してください。  
②リチウム電池、アルカリ電池、充電式単3形電池がポンプに使用できます。リチウム電池を推奨します。

1



ベルトクリップの先を使って、電池カバーを左回り(反時計回り)に回し、電池カバーを外します。

2



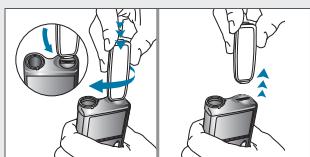
マイナス側(平らな面)を下にして、電池を電池挿入部に挿入します。

3



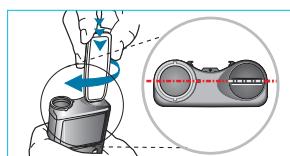
ポンプの挿入口の上に電池カバーをのせます。

4



ベルトクリップの先を使って、電池カバーを右回り(時計回り)に回し、カバーの溝がポンプと平行になるまで締めます。右の図を参照してください。

電池カバーは、緩んでいたり締めすぎたりしないようにしてください。リザーバを挿入する際は、下図のように電池カバーの溝とリザーバの突起部分が平行になるようにしてください。



## セクション2: スタートウィザード



初期設定時のみこの操作が必要になります。

ポンプの電源が入り、スタートウィザードが開始されます。

\*初期出荷時はボーラスウィザード設定[オフ]、糖質量単位[グラム]、基礎レート未設定となっています。

注:スタートウィザードの設定は、主治医にご相談ください。

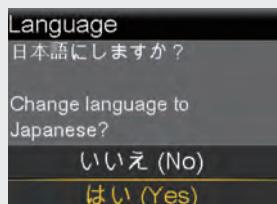


画面上で強調表示(黄色)されている項目が選択可能な項目です。  
▲と▼のボタンを使用して選択したい項目を強調表示させ、○ボタンを押して選択を確定してください。

1. 日本語が選択されるまで▼を押し、○を押します。

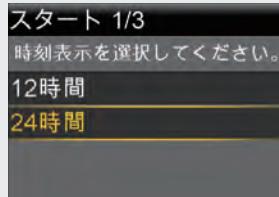


[言語選択]



2. ▼を押して「はい」(Yes)を選択し、○を押します。

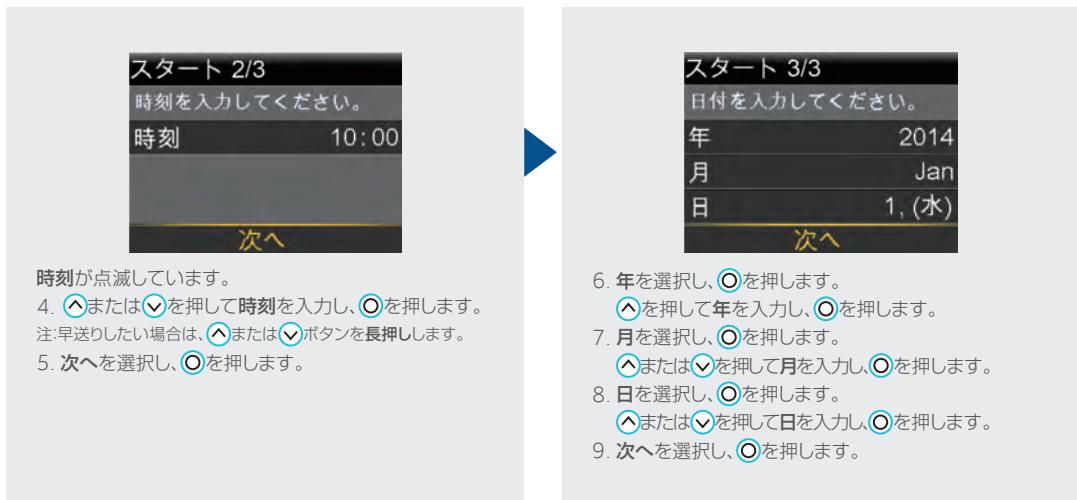
[日時設定]



3. 12時間を選択するか、▼を押して24時間を選択し、○を押します。

注:この例では、24時間を使用します。

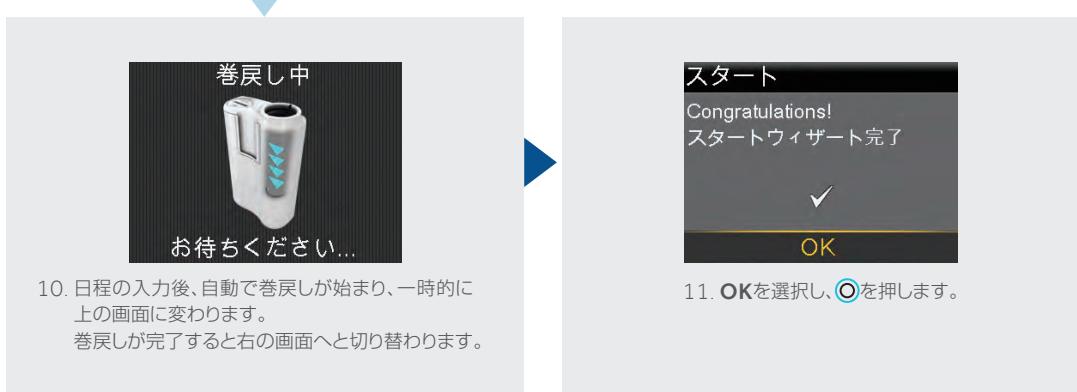
次ページに続く →



時刻が点滅しています。

4. またはを押して時刻を入力し、を押します。  
注:早送りしたい場合は、またはボタンを長押しします。
5. 次へを選択し、を押します。

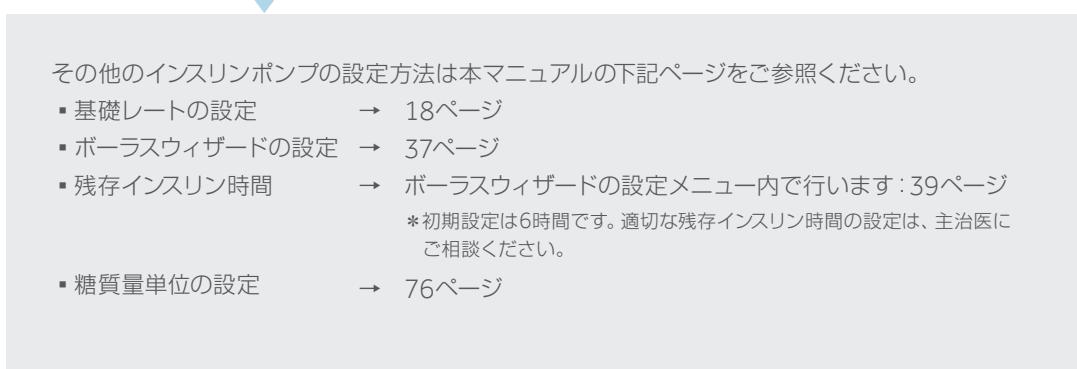
6. 年を選択し、を押します。  
を押して年を入力し、を押します。
7. 月を選択し、を押します。  
またはを押して月を入力し、を押します。
8. 日を選択し、を押します。  
またはを押して日を入力し、を押します。
9. 次へを選択し、を押します。



10. 日程の入力後、自動で巻戻しが始まり、一時的に上の画面に変わります。  
巻戻しが完了すると右の画面へと切り替わります。

11. OKを選択し、を押します。

注: 設定は一例です。実際の設定や数値の決定は、主治医にご相談ください。



## セクション3: ホーム画面

ホーム画面は、ポンプの操作を始めるためのスタート画面です。

一定期間ボタンに触れずにいると、電池節約のために画面が暗くなります。ポンプの電源は入っています。いずれかのボタンを押すと再度画面が表示されます。

 電源モード

- 標準時:ポンプの画面が表示されている状態。
- 省電力モード:一定時間ポンプを操作しないと画面が暗くなります(15秒、30秒、1分、3分より設定可能)。
- ポンプのいずれかのボタンを押すことで省電力モードになる前の最後の画面に戻ります。

 スリープモード

- バックライト時間以降、2分間以上ボタンを押さずにいるとポンプの画面が暗いままになります。
- ポンプのいずれかのボタンを押すことでホーム画面に戻ります。

注:ポンプをスリープモードにするには、メニューボタン  を長押しします。

ホーム画面には、次の情報が表示されます。



### ポンプの画面表示が暗くなってしまったら?

アヤカさんは、ポンプのボタンを押さずにいると画面が暗くなることに気づきました。再度画面を明るくするには、いずれかのボタンを押せばよいので、 を押してポンプの画面を再度表示させました。

**ヒント** ポンプが省電力モードになるまでの時間が短すぎる場合は、設定を変更することができます。変更方法については本マニュアル15ページに記載しています。



### ■ キーパッドロックの解除方法

一定時間が経ちポンプがスリープモードに入ると、自動でキーパッドロックがかかります。

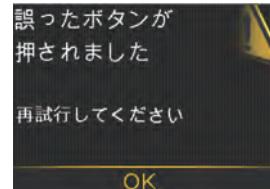
ホーム画面からポンプを操作するには、ロックを解除する必要があります。

\*イージーボーラス使用時はロックされません。

\*ポンプのロックは解除されると、再度スリープモードにならない限り、解除された状態を保ちます。

## 操作方法

- 1 スリープモードからホーム画面を立ち上げ、さらに前に進む際に、右の画面が表示されます。指示に従ってボタンを押してください。
- 2 色つきで強調表示されているボタンを押して、ポンプのロックを解除してください。  
\*強調表示されているボタンはロック解除ごとに変わります。
- 3 表示と異なるボタンが押された場合、右の画面が表示されます。  
OKを選択し、◎を押すとホーム画面に戻ります。



## ステータスバー

ステータスバーに表示されているアイコンを確認すれば、確認したい情報がひと目で分かれます。ポンプ使用時には次の3つのアイコンが表示されます。



### アイコンの種類

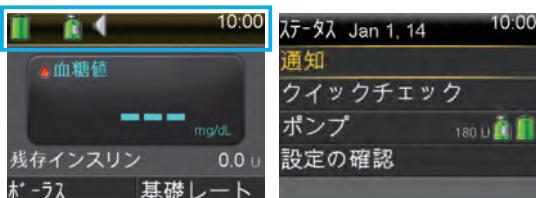
	電池アイコン 電池残量を表示します。電池残量が減少するに従ってアイコンの緑色も減少し、次に黄色に、その後に赤色を経て最後に空の状態表示に変わります。（＊赤色になってから約8時間維持）
	リザーバアイコン リザーバに残っているインスリンのおよその量を表示します。インスリンが使用されるに従ってアイコンの緑色も減少し、次に黄色に、その後に赤色を経て最後に空の状態表示に変わります。
	音声アイコン 次のマークで、使用中の音/バイブ設定を表示します。 : 音、: バイブ、: 音+バイブ

## ■ステータス画面

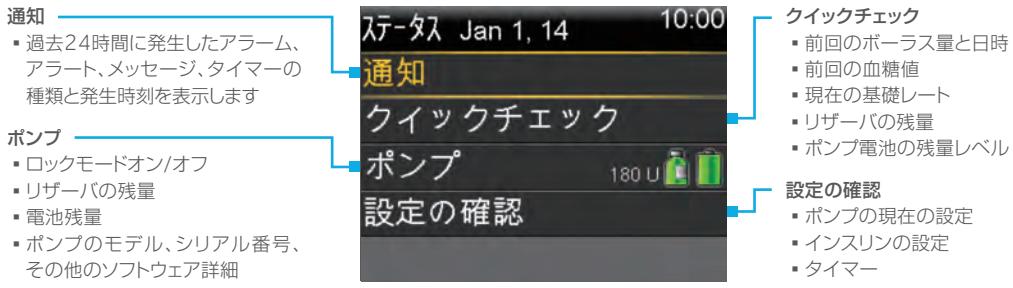
ステータスバーの情報よりも詳細な情報を確認したい場合は、「ステータス画面」を活用してみましょう。

## 操作方法

- 1 ステータスバーが選択されるまで△を押し、◎を押します。
- 2 確認したい項目が選択されるまで▽を押し、◎を押します。



# 簡易マニュアル | ホーム画面



各メニュー項目を選択した場合に確認できるステータス情報は次の通りです。

通知	過去24時間に発生したアラーム、アラート、メッセージ、タイマーの種類と発生時刻を表示します。
クイックチェック	直近のボーラス注入量、入力された血糖値、現在の基礎レートなど、現在のポンプの情報を一覧で表示します。
ポンプ	直近のリザーバ交換日やリザーバ内のインスリン残量単位数など、ポンプに関するより詳細な情報を表示します。
設定の確認	ポンプの設定を表示します。



- ① を押すと、前の画面に戻ることができます。
- ② ポンプの画面が暗くなった場合は、いずれかのボタンを押すことで画面を確認することができます。

ポンプを使って次の操作を練習してみましょう。

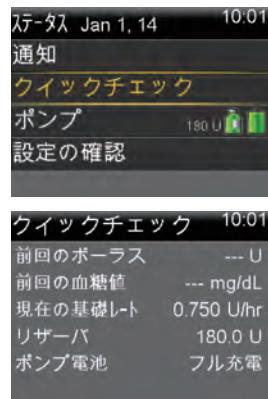
## （）練習してみましょう：クイックチェックの確認

### 操作方法

ホーム画面で

- 1 ステータスバーが選択されるまで を押し、 を押します。
- 2 を押してクイックチェックを選択し、 を押します。

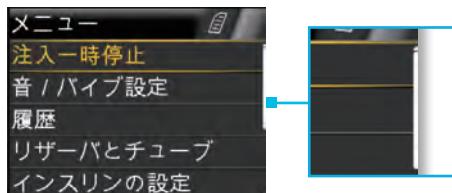
- 3 表示された項目を確認します。
- 4 を押してステータス画面に戻ります。
- 5 再度 を押してホーム画面に戻ります。



# 簡易マニュアル | メニュー

## セクション4: メニュー

Ⓐボタンを押すと、メニューが表示されます。



画面またはメニューに5行を超える情報が記載されている場合は、画面右端にスクロールバーが表示されます。続きを読む場合は、Ⓑを押してスクロールしてください。

スクロールバー

メニューには9個の項目があり、各項目には関係する機能が含まれています。

### ■ メニュー項目

各メニュー項目に含まれる情報は次の通りです。

注入一時停止	インスリン注入を停止します。例えば、水泳や入浴でポンプを外す場合に使用します。
音/パイプ設定	アラートやタイマー発生時の通知方法を選択できます。音、パイプ、もしくはその両方を選ぶことができます。音量の変更もここで行います。
履歴	直近のインスリン注入、ポンプ操作、アラートやアラームに関する情報を表示します。また、過去3か月の情報を確認することもできます。
リザーバとチューブ	リザーバおよび注入セット交換の手順を表示、案内します。
インスリンの設定	インスリン注入に関する設定変更を行うメニューです。個人に合わせた設定を行うことができます。 (注:実際の設定や数値の決定は主治医にご相談ください。)
センサの設定	センサの使用に関する設定を行います。リアルタイムCGMを使用する場合に設定します。
イベントマーカ	ポンプ内に食事・インスリン注射・運動などのイベントを記録できます。
タイマー	あらかじめ設定したタイミングで血糖自己測定や注入セット交換をお知らせします。
ユーティリティ	機内モード、表示オプション、日時設定、セルフテストなど、その他の様々な機能や設定ができます。

次のページに、基本メニューのマップを掲載します。各メニュー項目選択時に表示されるオプションも記載しています。

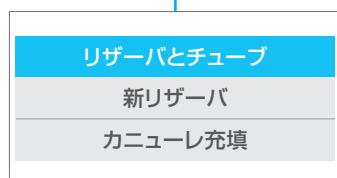
# 簡易マニュアル | メニュー

## メニュー マップ



ホーム画面

①を押します。



## ■ メニューマップのナビゲーション

Ⓐを押せばどの画面からでもメニューを開くことができます。

ⒷまたはⒶを押してメニュー項目をスクロールします。

設定したい項目のところでⒷを押し、メニューを開きます。



本文に続きがある場合は、画面にスクロールバーが表示されます。  
続きを確認する場合は、Ⓑを押して下にスクロールします。  
Ⓐを押して上に戻ります。  
Ⓑを押すと、前の画面に戻ります。Ⓑを長押しすると、ホーム画面に戻ります。

<b>センサの設定</b> センサ	<b>タイマー</b> カスタマイズ ボーラス後血糖測定 食事ボーラス未注入 リザーバ残量低下 注入セット交換	<b>インスリンの設定</b> ボーラスウィザードの設定 基礎レートパターン設定 プリセット一時基礎設定 プリセットボーラス設定 デュアル／スクエア ボーラス増減幅 最大基礎レート／ボーラス イージーボーラス 自動一時停止 ボーラス注入速度	<b>イベントマーカ</b> 血糖値 インスリン注射 食事 運動 その他	<b>ユーティリティ</b> 機内モード 表示オプション 日付および時刻 遠隔ボーラス ロック セルフテスト 糖質単位 設定の管理 センサデモ 接続機器オプション 言語
----------------------	--	--	---	---

## セクション5: 主要なメニュー項目

メニュー内の基本的な機能をいくつか紹介します。

### 音/バイブ設定

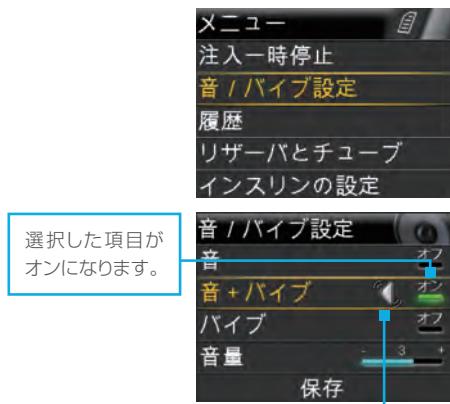
音/バイブ設定で、音、音+バイブ、またはバイブに設定します。音量の調節も可能です。



練習してみましょう

#### 操作方法

- 1 (1) を押します。
- 2 音/バイブ設定が選択されるまで (2) を押し、(3) を押します。
- 3 設定したい項目が選択されるまで (4) を押し、(5) を押します。  
音または音+バイブを選択すると、音量の調節が可能になります。
- 4 音量が選択されるまで (6) を押し、(7) を押します。
- 5 (8) または (9) を押して音量を設定し、(10) を押します。  
注: この例では、音量が 3 に設定されています。
- 6 保存を選択し、(11) を押します。



注: 設定は一例です。実際の設定については、主治医にご相談ください。

## 表示オプション

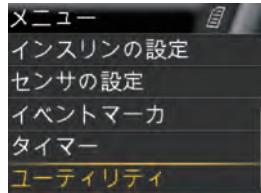
表示オプションでは、ポンプ画面の明るさを設定することができます。省電力モードに入るまでの画面点灯時間の変更も、この画面で行います。



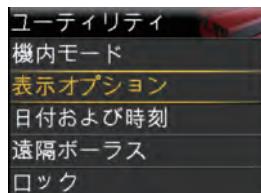
練習してみましょう

### 操作方法

- 1 (Ⓐ)を押します。
- 2 ユーティリティが選択されるまで(▽)を押し、(○)を押します。



- 3 表示オプションが選択されるまで(▽)を押し、(○)を押します。

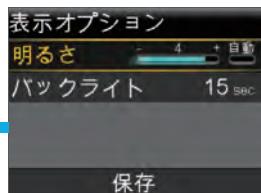


画面の明るさを調節したい場合は、

- 4 明るさを選択し、(○)を押します。
- 5 (△)または(▽)を押して明るさを設定し、(○)を押します。

注:この例では、明るさが4に設定されています。

自動設定にすると、画面の明るさは、周囲の明るさに合わせて自動的に調節されます。

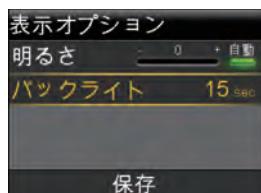


バックライトを調節したい場合は、

- 6 バックライトを選択し、(○)を押します。
- 7 (△)を押してバックライトの点灯時間を入力し、(○)を押します。

注:この例では、バックライトが15秒に設定されています。

- 8 保存を選択し、(○)を押します。



注: 設定値は一例です。実際の設定や数値の決定は、主治医にご相談ください。

## 注入一時停止と再開

注入一時停止は、選択するとすべてのインスリン注入が停止します。

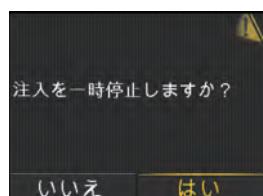
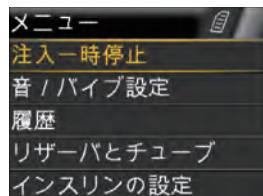


練習してみましょう：手動でポンプのインスリン注入を一時停止する

### 操作方法

- 1 Ⓛを押します。
- 2 注入一時停止を選択し、Ⓑを押します。

- 3 Ⓑを押して「はい」を選択し、Ⓐを押すと、インスリン注入を一時停止します。



注入一時停止が実行されたことを示す画面が表示されます。

ホーム画面の表示が変更されていることを確認してください。





注入が再開されると、基礎インスリン注入が始まります。  
一時停止中に注入されなかった基礎インスリンは、再開しても注入されません。  
ボーラス注入中に一時停止した場合、ボーラス注入は解除されます。  
注入を再開しても、残りのボーラスは注入されません。



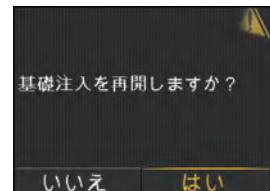
### 練習してみましょう：基礎インスリン注入を再開する

#### 操作方法

- 1** ホーム画面で①を押して再開を選択し、②を押します。



- 2** ①を押して「はい」を選択し、②を押すと、インスリン注入を再開します。



注入が再開されたことを示す画面が表示されます。

右図の通り、最初のホーム画面の表示に戻ります。



## セクション6: 基礎レートの設定

基礎レートパターンでは、24時間にわたってインスリン注入される**基礎レートプログラムを最大8種類**(基礎レート1~5、就業日、休日、シックデイ)まで設定することができます。表示されたパターン名称を選択し、希望の基礎レートパターンを設定します。

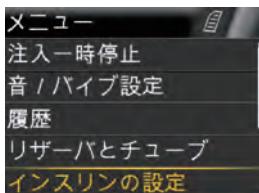
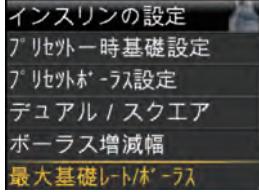
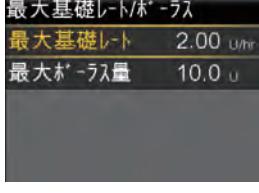
**基礎レートパターン**は、00:00~24:00までの基礎レートを入力します(30分刻みで入力することが可能です)。次の画面は、1日の内で基礎レートを複数設定する場合の基礎レートパターン設定画面の例です。

基礎1の変更		
開始	終了	U/hr
00:00	03:00	0.500
03:00	07:00	0.800
07:00	24:00	0.650
完了		

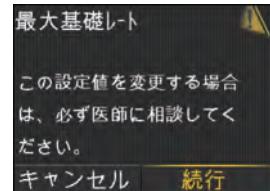
1つの時間帯の終了時間の時刻は、次の時間帯の開始時間の時刻と同じになります。

### 最大基礎レートの設定

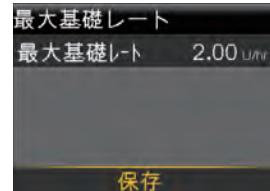
基礎レートの設定を行う前に、**最大基礎レート**の量を変更する場合があります。**最大基礎レート**は、1時間に注入可能な基礎インスリン注入量の最大値です。現在のポンプの設定を確認してください。主治医から指示された**基礎レート**が2.0 U/hr以上の場合には、次の手順に従って最大基礎レートの数値を変更してください。

操作方法	表示画面
<p>1 ⌂を押します。</p> <p>2 インスリンの設定が選択されるまで▽を押し、○を押します。</p> <p>3 最大基礎レート／ボーラスが選択されるまで▽を押し、○を押します。</p> <p>4 最大基礎レートを選択し、○を押します。</p>	  

- 5** 右の画面が表示され、主治医の助言による変更であることの再確認を促します。  
主治医の助言による変更である場合は、を押し、**続行**を選択し、を押します。



- 6** 最大基礎レートを選択し、を押します。  
**7** またはを押して最大基礎レートの数値を入力し、を押します。  
注: この例では、最大基礎レートが2.00U/hrに設定されています。



注: 設定値は一例です。実際の設定や数値の決定は、主治医にご相談ください。

## 基礎レートパターンの設定

基礎レートパターンを設定する場合は、インスリンの設定を選択する必要がありますが、インスリンの設定には2種類の設定方法があります。

### 設定方法1

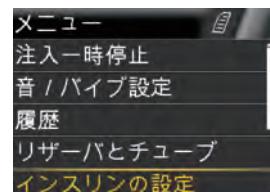
- 1** ホーム画面でを押して基礎レートを選択します。



- 2** インスリンの設定が選択されるまでを押し、を押します。

### 設定方法2

- 1** を押します。  
**2** インスリンの設定が選択されるまでを押し、を押します。

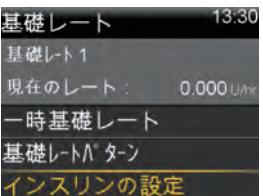
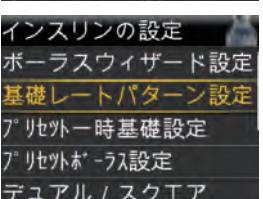
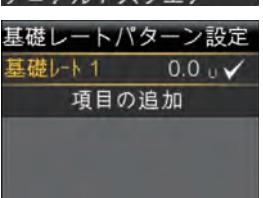
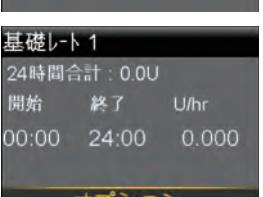


# 簡易マニュアル | 基礎レートの設定

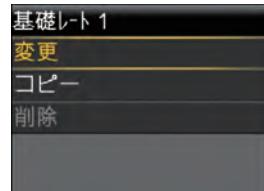
## ■ 基礎レートパターンの入力

基礎レートを24時間、同じ注入量に設定する場合の手順は、次の通りです。24時間の中で時間帯によって異なる基礎レートを設定する場合は、本マニュアル22ページから始まる手順に従ってください。

- ① [設定を入力] 基礎レートが1種類のみ(24時間、同じ注入量)の基礎レートパターンを入力する

操作方法	表示画面
① ホーム画面で①を押して基礎レートを選択し、②を押します。	
② インスリンの設定が選択されるまで①を押し、②を押します。	
③ ①を押して基礎レートパターン設定を選択し、②を押します。	
④ 基礎レート1を選択し、②を押します。 注:項目の追加選択については24ページの「基礎レートパターンの項目の追加またはコピー」を参照してください。	
⑤ オプションを選択し、②を押します。	

- 6 変更を選択し、○を押します。



- 7 時間帯のところで○を押すと、終了の時刻が点滅します。

- 8 この例では、1種類(24時間、同じ)の基礎レートのみを設定しますので、終了の時刻を変更する必要はありません。24:00のままで○を押します。



- 9 □を押して最初の基礎レート注入量のU/hrの数値を入力し、○を押します。

注:この例では、最初の基礎レート注入量が0.750 U/hrに設定されています。



- 10 完了を選択し、○を押します。



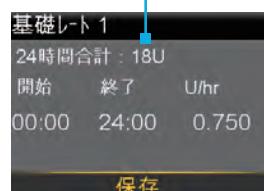
- 11 基礎レートパターンが正しく入力されていることを確認します。

24時間合計に間違いがないことも確認してください。

変更の必要がない場合は、

- 12 保存を選択し、○を押します。

この基礎レートパターンでは、24時間の間に18単位が注入されます。



変更の必要がある場合は、

- 13 □を選択します。

- 14 □を押して時間帯のところで○を押し、必要な変更を行います。

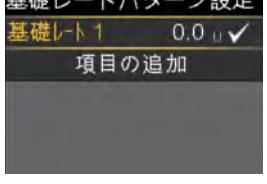
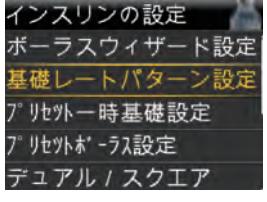
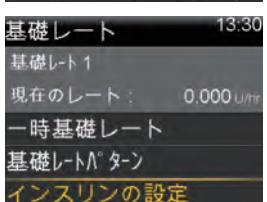
- 15 変更が終了したら、保存を選択し、○を押します。

注: 設定値は一例です。実際の設定や数値の決定は、主治医にご相談ください。

# 簡易マニュアル | 基礎レートの設定

- ① [設定を入力] 2種類以上(24時間の中で時間帯によって異なる)の基礎レートを含む基礎レートパターンを入力する

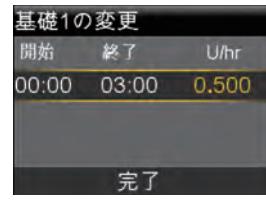
操作方法	
1	ホーム画面で①を押して基礎レートを選択し、②を押します。
2	インスリンの設定が選択されるまで③を押し、④を押します。
3	⑤を押して基礎レートパターン設定を選択し、⑥を押します。
4	基礎レート1を選択し、⑦を押します。 注:項目の追加選択については本マニュアル24ページの「基礎レートパターンの項目の追加またはコピー」を参照してください。
5	オプションを選択し、⑧を押します。
6	変更を選択し、⑨を押します。



- 7 時間帯のところで○を押すと、終了の時刻が点滅します。  
 8 ▲を押して最初の基礎レート終了時間を入力し、○を押します。
- 注:この例では、最初の基礎レート終了時間が03:00に設定されています。



- 9 ▲を押して最初の基礎レート注入量のU/hrの数値を入力し、○を押します。  
 注:この例では、最初の基礎レート注入量が0.500 U/hrに設定されています。



- 10 2番目の時間帯が表示されます。  
 時間帯のところで○を押すと終了の時刻が点滅します。  
 11 ▲を押して2番目の基礎レート終了時間を入力し、○を押します。
- 注:この例では、2番目の基礎レート終了時間が07:00に設定されています。

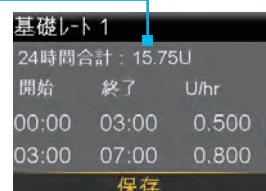


- 12 全体が24時間になるまで、この手順を繰り返してください。  
 注:3種類の基礎レートパターンが設定されていますが、  
 30分刻みで1日48通りの基礎レートパターンを設定できます。



- 13 完了を選択し、○を押します。

この基礎レートパターンでは、  
 24時間間に15.75Uが注入されます。



変更の必要がある場合は、

- 16 □を選択します。  
 17 ▲を押して時間帯のところで○を押し、必要な変更を行います。  
 18 変更が終了したら、保存を選択し、○を押します。

注: 設定値は一例です。実際の設定や数値の決定は、主治医にご相談ください。

# 簡易マニュアル | 基礎レートの設定

## ■ 基礎レートパターンの項目の追加またはコピー

複数の基礎レートを設定する場合に、追加の基礎レートパターンを設定することができます。

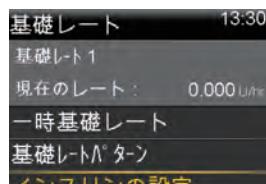
例えば、活動量が変わる週末などのパターンを設定することができます。追加の基礎レートパターンを設定する場合は、新たな基礎レートを設定することもできますし、既存の基礎レートをコピー・編集し、設定することもできます。新たな基礎レートパターンを追加する場合は、次の手順に従ってください。

### 操作方法

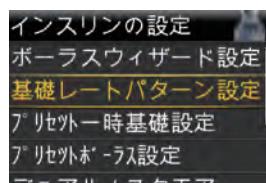
- 1 ホーム画面で $\textcircled{>}$ を押して基礎レートを選択し、 $\textcircled{\text{○}}$ を押します。



- 2 インスリンの設定が選択されるまで $\textcircled{v}$ を押し、 $\textcircled{\text{○}}$ を押します。



- 3  $\textcircled{v}$ を押して基礎レートパターン設定を選択し、 $\textcircled{\text{○}}$ を押します。

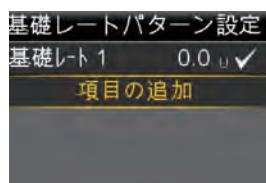


次の2つの設定方法があります。

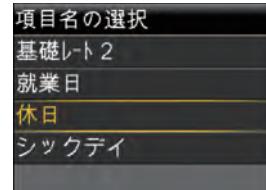
### 新しい基礎レートパターンを追加する

### 操作方法

- 4 項目の追加が選択されるまで $\textcircled{v}$ を押し、 $\textcircled{\text{○}}$ を押します。



- 5 設定したい項目名が選択されるまでを押し、を押します。  
注:この例では、休日が選択されています。



- 6 この追加パターンの時刻と基礎レートを入力して完了を選択し、を押します。



- 7 保存を選択し、を押します。

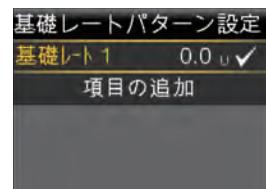


注: 設定値は一例です。実際の設定や数値の決定は、主治医にご相談ください。

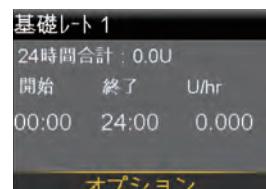
### 既存の基礎レートパターンをコピーし、編集する

#### 操作方法

- 4 基礎レート1などの既に設定済みの基礎レートパターンを選択し、を押します。



- 5 オプションを選択し、を押します。

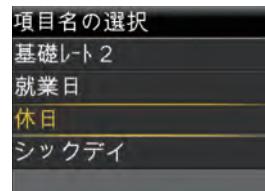


- 6 を押してコピーを選択し、を押します。  
これにより、設定済みの基礎レートパターンがコピーされ、必要な変更を行うことができるようになります。

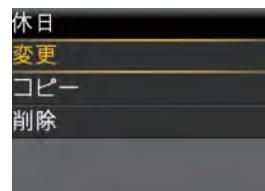


# 簡易マニュアル | 基礎レートの設定

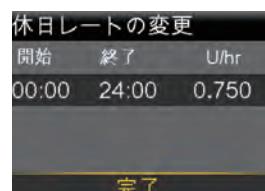
- 7 設定したい項目名が選択されるまで $\checkmark$ を押し、 $\circlearrowright$ を押します。  
注:この例では、休日が選択されています。



- 8  $\wedge$ を押して変更を選択し、 $\circlearrowright$ を押します。



- 9 設定済みの基礎レートに必要な変更を行って完了を選択し、 $\circlearrowright$ を押します。  
注:基礎レートパターンを変更する場合は、本マニュアル20ページ以降の「基礎レートパターンの入力」を参照してください。



- 10 保存を選択し、 $\circlearrowright$ を押します。



注: 設定値は一例です。実際の設定や数値の決定は、主治医にご相談ください。

## ■ 基礎レートパターンの確認と選択

基礎レートパターンのオプションで、次の2つることができます。

- ・現在設定されている基礎レートパターンの確認
- ・使用したい基礎レートパターンの選択



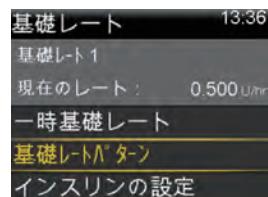
練習してみましょう：基礎レートパターンを確認する

### 操作方法

- 1** ホーム画面で $\textcircled{>}$ を押して基礎レートを選択し、 $\textcircled{\text{OK}}$ を押します。



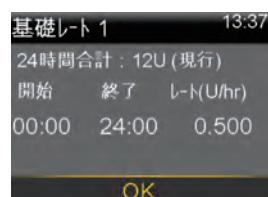
- 2**  $\textcircled{v}$ を押して基礎レートパターンを選択し、 $\textcircled{\text{OK}}$ を押します。



- 3** 確認したい基礎レートパターンが選択されるまで $\textcircled{v}$ を押し、 $\textcircled{\text{OK}}$ を押します。



- 4** OKを選択し、 $\textcircled{\text{OK}}$ を押します。



注：設定値は一例です。実際の設定や数値の決定は、主治医にご相談ください。

# 簡易マニュアル | 基礎レートの設定

## 練習してみましょう：使用したい基礎レートパターンを選択する

### 操作方法

- 1 ホーム画面で①を押して基礎レートを選択し、②を押します。

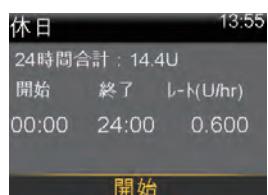


- 2 ①を押して基礎レートパターンを選択し、②を押します。



チェックマークは、どの基礎レートパターン  
が有効であるかを示しています。

- 3 設定したい基礎レートパターンが選択されるまで①を押し、②を押します。



- 4 開始を選択し、②を押します。



有効な基礎レート  
パターンが変更さ  
れたことに注目して  
ください。

注：設定値は一例です。実際の設定や数値の決定は、主治医にご相談ください。

## 基礎レートのその他の機能

### ■一時基礎レートの設定

設定した一定時間、一時的かつ即座に基礎インスリン注入量を増減させる機能です。運動時やシックデイ、ペン型注射器からのインスリンポンプへの切り替え時などによく使われます。

一時基礎レートは、

- パーセント：現在の基礎レートの設定パーセントの量を注入
- レート：入力した量を注入

のいずれかで設定することができます。

一時基礎レートは、現在の基礎レートより高く設定することも低く設定することもできます。30分間隔で、24時間まで設定することができます。

#### 一時基礎レートを使用する

カオリさんは庭仕事が大好きです。

しかし、庭仕事をするといつもより血糖値が低下することが多々あります。

今は一時基礎レート機能を利用して、庭仕事の際のインスリン注入量を減らしています。これにより、血糖値が下がり過ぎないように保つことが容易になりました。



# 簡易マニュアル | 基礎レートの設定

## 練習してみましょう：一時基礎レートを設定する

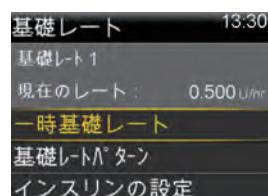
この例では、これから2時間、現在の基礎レートの60%の注入量にする一時基礎レートの設定方法を説明します。

### 操作方法

- 1 ホーム画面で①を押して基礎レートを選択し、②を押します。

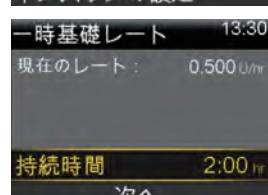


- 2 一時基礎レートを選択し、②を押します。

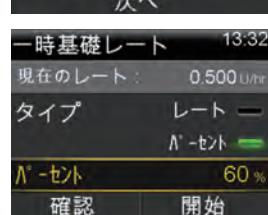


- 3 ①を押して持続時間を入力し、②を押します。

注: この例では、持続時間が2時間に設定されています。



- 4 次へを選択し、②を押します。



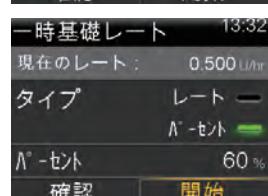
- 5 パーセントを選択し、②を押します。

6 ①または②を押してパーセント値を入力し、②を押します。

注: レートを使用する場合は、①を押してタイプを選択し、②を押すと、

注入したいU/hrの数値の入力が可能になります。

注: この例では、パーセントが60%に設定されています。



- 7 開始を選択し、②を押します。

ホーム画面には基礎(一時)と表示され、一時基礎レートが有効になったことを示します。

ホーム画面で①を押して基礎(一時)を選択し、②を押すと、  
有効になっている一時基礎レートの詳細を確認することができます。



注: 設定値は一例です。実際の設定や数値の決定は、主治医にご相談ください。一時基礎レートが終了すると、基礎レートは自動的に通常のレートに戻ります。

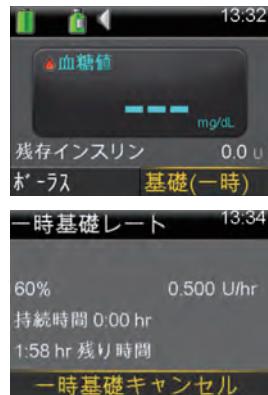


## 練習してみましょう：一時基礎キャンセルを実行する

一時基礎レートを終了する前に通常設定の基礎レートに戻す必要が生じた場合は、設定をキャンセルすることができます。

### 操作方法

- 1** ホーム画面で①を押して基礎(一時)を選択し、②を押します。



- 2** 一時基礎レートの詳細が表示されます。一時基礎キャンセルを選択し、②を押します。

注: キャンセルしない場合は、①を押してください。

ホーム画面の表示は、基礎レートに戻ります。



注: 設定は一例です。実際の設定については、主治医にご相談ください。

## セクション7: ボーラスの設定

ボーラスは、次の4つの方法で注入することができます。

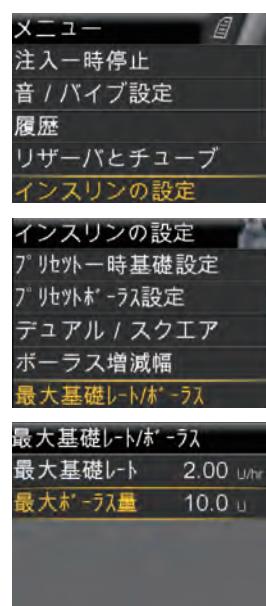
- マニュアルボーラス
  - ボーラスウィザード
  - イージーボーラス
  - プリセットボーラス
- ここでは、マニュアルボーラスとボーラスウィザードについて説明します。

### 最大ボーラスの設定

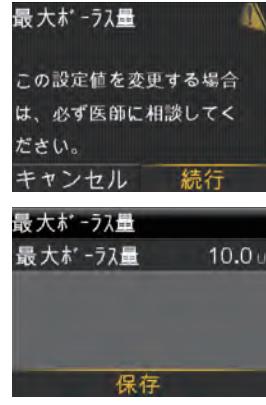
設定操作を始める前に、**最大ボーラス量**の変更が必要となる場合があります。**最大ボーラス量**は、1回に注入可能なボーラス注入量の最大値です。現在のポンプの設定を確認してください。

1回のボーラス注入量が10.0 U(初期設定値)以上の場合には、次の手順に従って数値を変更してください。

操作方法	
<b>1</b>	Ⓐ を押します。
<b>2</b>	インスリンの設定が選択されるまで ⌄ を押し、Ⓑ を押します。
<b>3</b>	最大基礎レート／ボーラスが選択されるまで ⌄ を押し、Ⓑ を押します。
<b>4</b>	Ⓐ を押して <b>最大ボーラス量</b> を選択し、Ⓑ を押します。
<b>5</b>	確認画面が表示されます。 主治医と相談して決定した変更である場合は、Ⓐ を押して <b>続行</b> を選択し、Ⓑ を押します。
<b>6</b>	<b>最大ボーラス量</b> を選択し、Ⓑ を押します。
<b>7</b>	Ⓐ または ⌄ を押して <b>最大ボーラス量</b> の単位数を入力し、Ⓑ を押します。 注:この例では、 <b>最大ボーラス量</b> が10.0Uに設定されています。
<b>8</b>	<b>保存</b> を選択し、Ⓑ を押します。



メニュー  
注入一時停止  
音 / バイブ設定  
履歴  
リザーバとチューブ  
**インスリンの設定**  
インスリンの設定  
アリセット一時基礎設定  
アリセットボーラス設定  
デュアル / スクエア  
ボーラス増減幅  
**最大基礎レート/ボーラス**  
最大基礎レート/ボーラス  
最大基礎レート 2.00 U/hr  
**最大ボーラス量 10.0**



最大ボーラス量  
この設定値を変更する場合は、必ず医師に相談してください。  
キャンセル 続行  
最大ボーラス量  
**最大ボーラス量 10.0**  
保存

注: 設定値は一例です。実際の設定や数値の決定は、主治医にご相談ください。

## ボーラス増減幅の設定

ボーラス増減幅の設定では、ボーラスの設定や計算を行う場合の増減幅を0.1U、0.05U、0.025Uの中から選択することができます。これらの設定は、次の数値に反映されます。

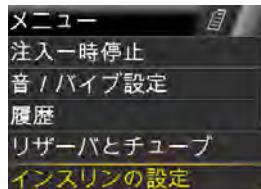
- 手入力によるボーラスやプリセットボーラスの設定時に、ボタンを1回押した場合に増減するボーラスの量（イージーボーラスには適用されません）
- ボーラスウィザード詳細画面で、ボーラス計算に使用される少数点以下の桁数



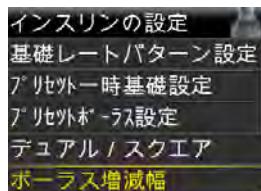
ボーラス注入単位の最少注入単位は0.025単位ですが、初期設定は、0.1単位です。  
ボーラス注入単位の変更は、[インスリンの設定内のボーラス増減幅](#)にて可能です。

### 操作方法

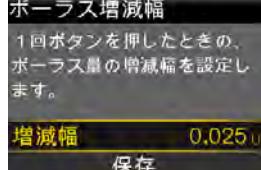
- ① (▲)を押します。
- ② インスリンの設定が選択されるまで(▽)を押し、(○)を押します。



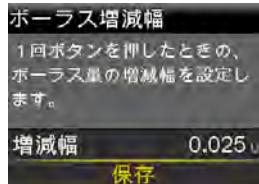
- ③ ボーラス増減幅が選択されるまで(▽)を押し、(○)を押します。



- ④ ▲または(▽)を押して希望のボーラス増減幅の単位数を入力し、(○)を押します。  
注:この例では、0.025Uに設定されています。初期設定は、0.1Uです。



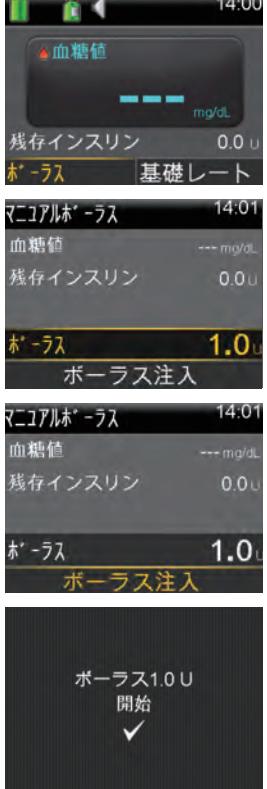
- ⑤ 保存を選択し、(○)を押します。



## マニュアルボーラスの注入開始

マニュアルボーラスで注入する場合は、ボーラス注入量を入力するだけで行うことができます。

操作方法	
<b>1</b>	ホーム画面でボーラスを選択し、  を押します。
<b>2</b>	 を押してマニュアルボーラスを選択し、  を押します。
<b>3</b>	主治医と決定したボーラス注入量になるまで $\Delta$ を押し、  を押します。 注:この例では、ボーラスが1.0Uに設定されています。
<b>4</b>	ボーラス注入を選択し、  を押します。
<b>5</b>	ボーラス注入の開始メッセージが表示されます。



注: 設定値は一例です。実際の設定や数値の決定は、主治医にご相談ください。

ボーラス注入中はホーム画面にボーラス注入量が表示されます。

ボーラス停止表示が出ていることを確認してください。

ボーラス注入が終了すると、ポンプは通常のホーム画面に戻ります。

ホーム画面で残存インスリンを確認することができます。



## ■ ポーラスの注入停止

ポーラス注入時に、注入量の誤入力に気づいたり、予定されていた食事をとることができなかったなど、ポーラス注入を途中で停止する必要がある場合は、ホーム画面に表示される**ポーラス停止**よりポーラスの注入を中止することができます。

ポーラスの注入を停止する場合は、

**操作方法**

- 1 ポーラスの注入中に、ホーム画面で**ポーラス停止**を選択し、◎を押します。
- 2 ▶を押して「はい」を選択し、◎を押します。
- 3 ポーラス中止画面で、ポーラス注入量を確認します。
- 4 完了を選択し、◎を押します。

ポーラス中止画面では、実際に注入が中止されるまでにポーラスインスリンがどれだけ注入されたかを表示します。

14:10

血糖値  
mg/dL

ポーラス 0.300 U

総量 5.000 U

ポーラス停止 基礎レート

ポーラス注入を中止しますか？

いいえ はい

14:11

ポーラス中止

注入量 1.000 / 5.000 U

完了

# 簡易マニュアル | ボーラスの設定

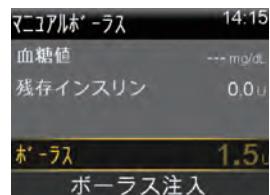


## 練習してみましょう：ボーラス注入を停止する

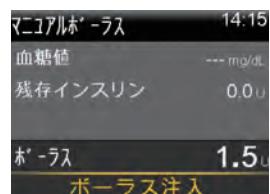
マニュアルボーラスで1.5単位を入力し、ボーラス注入が開始されたらボーラス注入を停止します。

### 操作方法

- 1 ホーム画面でボーラスを選択し、○を押します。
- 2 ボーラスが1.5 Uになるまで△を押し、○を押します。



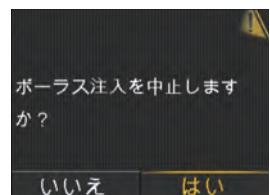
- 3 ボーラス注入を選択し、○を押します。



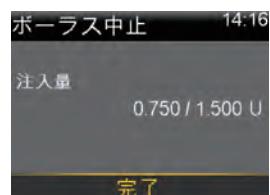
- 4 ホーム画面でボーラス停止を選択し、○を押します。



- 5 □を押して「はい」を選択し、○を押すとボーラス注入を中止します。



- 6 ボーラス中止画面で、ボーラス注入量を確認します。
- 7 完了を選択し、○を押します。



注：設定値は一例です。実際の設定や数値の決定は、主治医にご相談ください。

## ボーラスウィザードの設定

ボーラスウィザードでは、入力された血糖値と糖質量に基づいて、ボーラス注入量を自動で計算します。



**重要：**現在ボーラスウィザードを使用していない場合は、これより先の操作は行わないでください。  
ボーラスウィザードの使用に必要な設定は、主治医に相談して決定してください。

ボーラスウィザードを使用する場合は、糖質単位、インスリン効果値、血糖目標値、残存インスリン時間を設定する必要があります。



ここでは初回設定の手順を紹介します。2回目以降は変更したい項目を選択してください。

### 【 設定を入力】ボーラスウィザードの設定を入力する

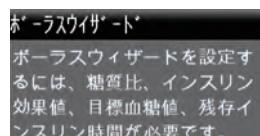
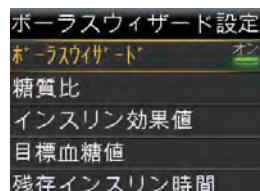
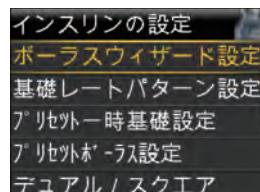
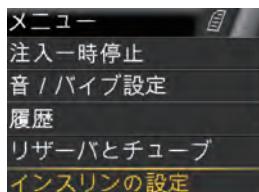
#### 操作方法

- 1 を押します。
- 2 インスリンの設定が選択されるまでを押し、を押します。
- 3 ボーラスウィザード設定を選択し、を押します。

- 4 ボーラスウィザードを選択し、**オン**にします。  
これで直接設定画面にアクセスすることができます。

- 5 本文を確認します。
- 6 次へを選択し、を押します。

- 7 糖質比の説明を確認し、次へを選択し、を押します。  
注:g(グラム)ではなくExchange(炭水化物交換値)をカウントする場合は、76ページを参照して、糖質単位をExchange比に変更してください。



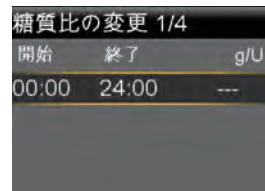
次へ



次へ

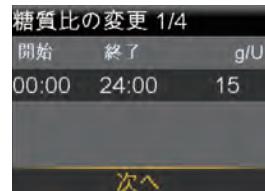
# 簡易マニュアル | ボーラスの設定

8 時間帯のところで○を押すと、終了の時刻が点滅します。

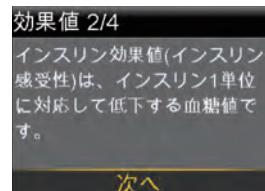


9 糖質比が1つだけの場合は、○を押して糖質比の入力を続行します。  
糖質比が2つ以上ある場合は、↖または↙を押して、  
すべて入力するまで時間帯と糖質比(g/U)の入力を続行し、○を押します。  
注:この例では、糖質比は1つだけで15g/Uに設定されています。

10 次へを選択し、○を押します。



11 インスリン効果値の説明を確認し、次へを選択し、○を押します。



12 時間帯のところで○を押すと、終了の時刻が点滅します。

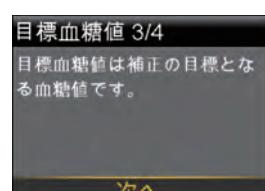


13 インスリン効果値が1つだけの場合は、○を押します。  
インスリン効果値が2つ以上ある場合は、↖または↙を押して、  
すべて入力するまで時間帯とインスリン効果値[mg/dL per U(1単位あたりの  
mg/dL)]の入力を続行し、○を押します。  
注:この例では、インスリン効果値は1つだけで50mg/dL/Uに設定されています。

14 次へを選択し、○を押します。

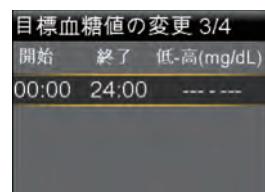


15 目標血糖値の説明を確認し、次へを選択し、○を押します。



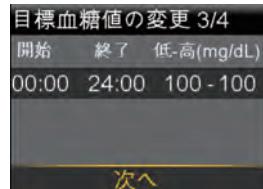
16 時間帯のところで○を押すと、終了の時刻が点滅します。

17 目標血糖値幅が1つだけの場合は、○を押します。  
目標血糖値幅が2つ以上ある場合は、↖または↙を押して、すべて入力するまで  
時間帯と目標血糖値幅[低-高(mg/dL)]の入力を続行し、○を押します。



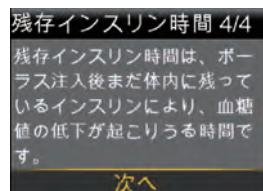
**18** 次へを選択し、◎を押します。

注:この例では、目標血糖値幅[低-高(mg/dL)]は1つだけで100-100mg/dLに設定されています。



次へ

**19** 残存インスリン時間の説明を確認し、次へを選択し、◎を押します。

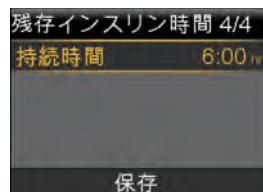


次へ

**20** 持続時間を選択し、◎を押します。

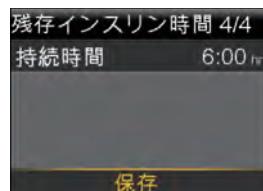
**21** ▲または▼を押して残存インスリン時間の持続時間を入力し◎を押します。

注:この例では、持続時間が6時間に設定されています。



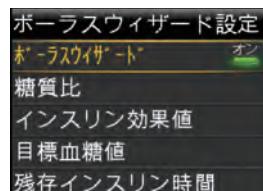
保存

**22** 保存を選択し、◎を押します。



保存

これで初期設定が完了し、個々の項目が設定可能になりました。  
これらの設定を変更する必要がある場合は、変更したい項目を選択し、必要な設定を行ってください。



注: 設定値は一例です。実際の設定や数値の決定は、主治医にご相談ください。

# 簡易マニュアル | ボーラスの設定

## ■ ボーラスウィザードの使用開始

使用を開始する前に、ボーラスウィザードの入力画面を確認してください。

測定した現在の血糖値	血糖	---	mg/dL	0.0	目標値を上回る血糖値用の補正インスリン
補正インスリンから差し引かれる 残存インスリン	残存インスリン調整	0.0	u	差し引かれる残存インスリン	
摂取する糖質量(グラム)	糖質	0	g	0.0	糖質用のインスリン
	ボーラス	0.0	u	0.0	合計ボーラス量
				次へ	



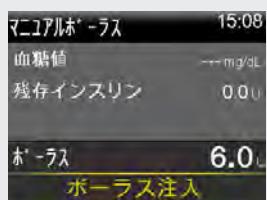
ボーラスウィザードを設定すると、ホーム画面からボーラスマニューを選択した後の画面表示が変わります。



ホーム画面でボーラスを選択し、◎を押します。

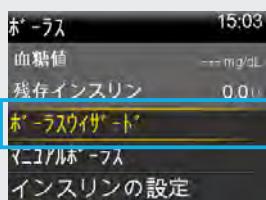


ボーラスウィザードを設定した場合の  
ボーラスマニュー画面表示

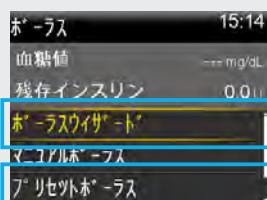


\*ホーム画面でボーラスを選択すると、すぐに  
マニュアルボーラス注入画面になります。

ボーラスウィザードを設定した場合の  
ボーラスマニュー画面表示



ボーラスウィザードとプリセット  
ボーラス\*を設定した場合の  
ボーラスマニュー画面表示



\*プリセットボーラスについては本マニュアル  
55ページをご確認ください。



## 練習してみましょう：食事及び補正ボーラス注入を開始する

血糖値と糖質摂取のためのボーラス注入について説明します。この例では、血糖値を200mg/dL、糖質を35g（グラム）としています。



**重要：**安全にポンプをご使用いただくために、ボーラス注入は、注入セットおよびリザーバを外して、練習してください。

### 操作方法

- 1 ホーム画面でボーラスを選択し、○を押します。
- 2 ボーラスウィザードを選択し、○を押します。

ボーラスウィザードが表示されるようになっています。この状態から、マニュアルボーラスで注入することもできます。

ボーラス	14:40
血糖値	---
残存インスリン	1.0u
<b>ボーラスウィザード</b>	
マニュアルボーラス	
インスリンの設定	
ボーラスウィザード	14:42
血糖 200 mg/dL	2.0u
残存インスリン調整	-0.9u
糖質 0 g	0.0u
ボーラス	1.1u
	次へ

- 3 血糖を選択し、○を押します。
- 4 ▲または▼を押して血糖値を入力し、○を押します。  
注: この例では、血糖が200mg/dLに設定されています。
- 5 糖質を選択し、○を押します。
- 6 ▲を押して糖質量を入力し、○を押します。  
注: この例では糖質が35gに設定されています。

ボーラスウィザード	14:42
血糖 200 mg/dL	2.0u
残存インスリン調整	-0.9u
糖質 35 g	2.3u
ボーラス	3.4u
	次へ

- 7 次へを選択し、○を押します。

ボーラスウィザード	14:43
血糖 200 mg/dL	2.0u
残存インスリン調整	-0.9u
糖質 35 g	2.3u
ボーラス	3.4u
	次へ

- 8 ボーラス注入を選択し、○を押します。

ボーラスウィザード	14:44
ボーラス	3.4 u
<b>ボーラス注入</b>	

入力した血糖値がホーム画面に表示され、12分間表示されたままになります。

注: 設定値は一例です。実際の設定や数値の決定は、主治医にご相談ください。

ここでは、血糖値または糖質のどちらか一方のみを入力する方法について説明します。

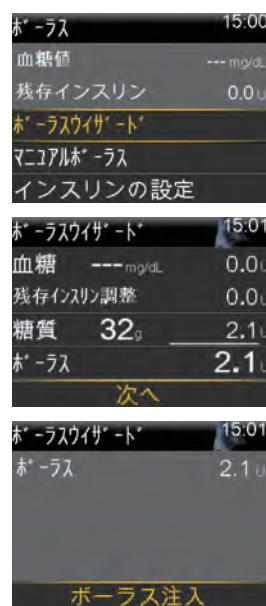
例えば、

- ・食事後さらに糖質を摂取している場合は、糖質量(グラム)のみを入力します。
- ・食後高血糖の疑いがあり、ボーラスが必要かどうか確認するため、2時間後に血糖値を測定した場合は、血糖値のみを入力します。



## 練習してみましょう：食事ボーラス（血糖値なし）注入を開始する

操作方法	
<b>1</b>	ホーム画面でボーラスを選択し、を押します。
<b>2</b>	ボーラスウィザードを選択し、を押します。
<b>3</b>	糖質を選択し、を押します。
<b>4</b>	を押して糖質量を入力し、を押します。 注:この例では、糖質が32gに設定されています。
<b>5</b>	次へを選択し、を押します。
<b>6</b>	ボーラス注入を選択し、を押します。



注：設定値は一例です。実際の設定や数値の決定は、主治医にご相談ください。



70 mg/dL未満、または250 mg/dLより高い血糖値が入力されると、メッセージが表示されます。

メッセージは、主治医から指示されている適切な対処を促します。

メッセージ例は次のページを確認してください。

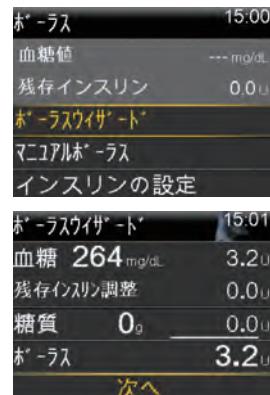


## 練習してみましょう：補正ボーラス（食事なし＝糖質なし）注入を開始する

この例では、血糖値264 mg/dLでボーラスを注入する場合について説明します。

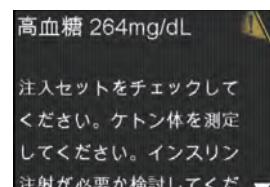
### 操作方法

- 1 ホーム画面でボーラスを選択し、○を押します。
- 2 ボーラスウィザードを選択し、○を押します。

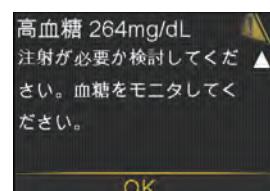


- 3 血糖を選択し、○を押します。
- 4 ⌘または▽を押して現在の血糖値を入力し、○を押します。  
注:この例では、血糖が264mg/dLに設定されています。  
同時に補正ボーラス量が右側に表示されます。
- 5 次へを選択し、○を押します。  
注1:この例では糖質は入力しません。  
注2:ボーラス量を変えたい場合はボーラスを選択し、数値を入力します。  
注3:この例では補正ボーラス量が3.2Uになっています。

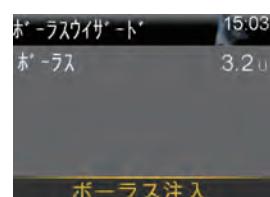
- 6 高血糖メッセージが表示されます。本文を読み、▽を押します。



- 7 本文を最後まで読み、糖尿病性ケトアシドーシス(DKA)予防のため、適切な処置を実行します。
- 8 OKを選択し、○を押します。  
注:アラートへの対応に関する詳細な情報については、本マニュアル77ページを参照してください。



- 9 ボーラス注入を選択し、○を押します。



注: 設定値は一例です。実際の設定や数値の決定は、主治医にご相談ください。



上記以外のボーラス注入については、「他の機能」セクションで紹介します。

## ボーラス履歴の確認

前回のボーラス、過去のボーラス注入量やその他の情報をポンプで確認することができます。

確認方法は複数あります。



練習してみましょう：前回のボーラスを確認する

クイックチェック画面で、前回のボーラスを確認することができます。

### 操作方法

- 1 ホーム画面で $\wedge$ を押してステータスバーを選択し、 $\circ$ を押します。
- 2 クイックチェックが選択されるまで $\vee$ を押し、 $\circ$ を押します。  
注:前回のボーラス注入量の後ろに表示される(N)は、ボーラスがノーマルボーラスとして注入されたことを示すものです。  
この他にもボーラス注入の表示方法があります。  
それらについては本マニュアルの後半で紹介します。

クイックチェック	12:02
前回のボーラス	0.500 U (N)
	00:02
	Jan 1
前回の血糖値	--- mg/dL
現在の基礎レート	0.025 U/hr
リザーバ	102.6 U

## 履歴メニューからのボーラス履歴の確認

「1日の履歴」は、1日のうちに注入された全てのボーラス注入について確認することができます。例えば、お子様が使用者の場合、保護者がその日のボーラス注入量を確認することができます。



練習してみましょう：ボーラス履歴を確認する（1日の履歴の場合）

1日の履歴で、直近の複数回のボーラスを確認することができます。

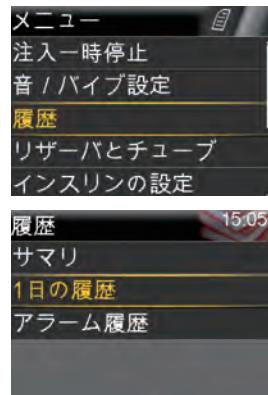
### 操作方法

- 1 (○)を押します。
- 2 履歴が選択されるまで(▽)を押し、(○)を押します。

- 3 (▽)を押して1日の履歴を選択し、(○)を押します。

- 4 確認したい日になるまで(▽)を押し、(○)を押します。

- 5 (▽)を押して確認したい履歴を選択し(○)を押すとより詳細な情報を確認できます。  
注：一日の履歴に表示される履歴は、使用状況により異なります。



(▽)と(△)の矢印を使用して、前後の日付を選択することができます。  
表示された項目で(○)を押すとその項目に関する詳細を確認することもできます。

## Memo

# リザーバとチューブの交換

ここでは、リザーバと注入セットの交換について説明します

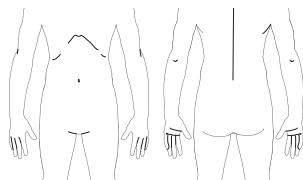
リザーバと注入セットの交換

48

## 注入セットの穿刺・留置に適した部位とローテーション

注入セットの穿刺・留置は都度ローテーションを行い、下図のような皮下組織(脂肪)が十分な部位を選択してください。

注意:皮下組織の分布は年齢や性別などによって個人差があります。部位は主治医や看護師にご相談ください。



- 避けた方が望ましい部位
- へそ周囲5cm
  - 傷や硬結している部位
  - 腸骨(骨盤の骨)の上など

推奨穿刺部位  
■ その他の穿刺部位

## インスリン注入セットは2~3日毎に交換しましょう



インスリンと注入セットは2~3日ごとに交換することが推奨されています

合併症リスクの低減と、適切なインスリン注入のために、インスリンと注入セットは2~3日ごとに交換することが推奨されています。注入セットの交換の際、穿刺する部位を変更することで、インスリン注入部位を健康な状態に保ちます。

また、感染、皮膚の硬結(脂肪組織の蓄積)、これらによるインスリン吸収のばらつき、炎症、傷あとが残るなどのリスクを低減することも期待されます。

# リザーバとチューブの交換

## リザーバと注入セットの交換

初めてポンプを使用する場合は、本マニュアル85～92ページを参照して注入セットを交換してください。



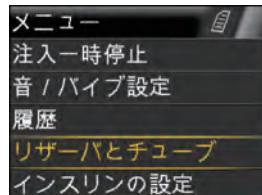
**重要：**必ず使用中のリザーバと注入セットを外してからポンプの巻戻し(ピストンを初期位置まで戻す操作)を行ってください。



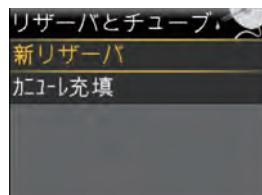
### リザーバと注入セットを交換する

#### 操作方法

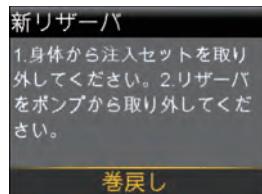
- 1 を押します
- 2 リザーバとチューブが選択されるまで を押し、 を押します。



- 3 新リザーバを選択し、 を押します。



- 4 使用済みの注入セットを身体から外します。
  - 5 空になったリザーバをポンプから取り出します。
  - 6 巻戻しを選択し、 を押します
- 注:スタートウィザードのボーラスウィザード設定で「はい」を選択し、  
ボーラスウィザード設定が終了したあとはここから最後までの手順を参照してください。  
注入セットやリザーバの準備は本マニュアル85ページの④からの手順を参考にしてください。



巻戻しを実行中は右の画面が表示されます。  
巻戻しを終了すると、音またはバイブ、もしくはその両方で通知します。



これまでと同じように、次の手順を実行してください。



**重要：**リザーバにインスリンを注入する方法は、本マニュアル86~87ページをご参照ください。

### 操作方法

- 1 リザーバにインスリンを充填します。
- 2 注入セットのチューブをリザーバに接続します。
- 3 次へを選択し、○を押します。
- 4 新たに充填したリザーバをポンプに挿しロックします。
- 5 次へを選択し、○を押します。

#### 新リザーバ

- 1.リザーバを充填して下さい。
  - 2.リザーバにチューブを接続して下さい。
- 注：身体に接続しないで下さい。

次へ

#### 新リザーバ

- 3.リザーバをポンプに取り付け、ロックしてください。
- 注：身体に接続しないで下さい。

次へ



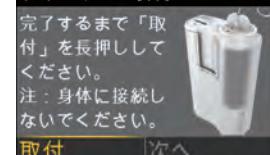
次の手順には特に注意してください。

まず、リザーバの取付を実行します。

- 6 取付を選択し、チェックマークが表示されるまで○を長押しします。

注：取付が完了すると、音またはパイプ（メニュー内「音/パイプ設定」の設定により変わります）でお知らせします。

#### リザーバの取付



取付

次へ

#### リザーバの取付

取付完了

注：身体に接続しないで下さい。



取付

次へ

#### チューブ充填

注：身体に接続しないで下さい。先端に液が見えるまで「充填」を長押しし、その後「次へ」を選択して下さい。

0.0

充填

次へ

- 7 次へを選択し、○を押します。

次に、チューブ充填を実行します。これにより、チューブの先端までインスリンが注入されます。

- 8 充填を選択し、チューブの先端に液が見えるまで○を長押しします。

注：画面には、チューブに充填したインスリン量が表示されます。

- 9 ○を押して次へを選択し、○を押します。

注入セットを挿入してカニューレにインスリンを充填し、交換作業を終了します。

- 10 注入セットを皮下に挿入する準備をし、挿入します。



**重要：**注入セットを皮下に挿入する方法は、本マニュアル90~91ページをご参照ください。



注入セットを交換する場合は、必ずセットの穿刺・留置部位をローテーションを行ってください。

# リザーバとチューブの交換

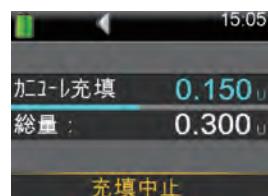
- 11 カニューレへの充填を行います  
12 充填を選択し、○を押します。

カニューレ充填？  
1.注入セットを取り付けて下さい。2.カニューレを充填するには「充填」を、充填の必要がなければ「完了」を選択して下さい。  
**充填 完了**

- 13 充填量を選択し、○を押します。  
14 □を押して充填量を入力し、○を押します。  
注: この例では、充填量が0.300Uに設定されています。

- 15 今すぐ充填を選択し、○を押します。

ポンプは入力された  
注入量を記憶します。

カニューレ充填  
1.充填量を確認します。2.充填には「今すぐ充填」を、戻るには戻るボタンを押します。  
**充填量 0.300 u 今すぐ充填**  
  
**充填中止**

ホーム画面には、カニューレ充填中のインスリン量が表示されます。  
注入量が間違っている場合など、何らかの理由で充填を中止する必要が生じた場合は、充填中止を選択し、○を押します。

注: 設定値は一例です。実際の設定や数値の決定は、主治医にご相談ください。

注入セット交換はこれで完了です。

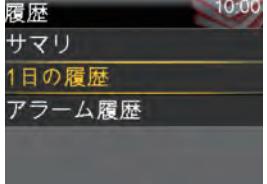
# その他の機能

ここでは、新しいポンプで使用可能な他の機能について紹介します。

<b>セクション1</b>	履歴メニュー	52
<b>セクション2</b>	他のインスリンの設定	53
	プリセット一時基礎の設定	53
	プリセットボーラスの設定	55
	デュアル／スクエアウェーブボーラスの設定	57
	イージーボーラス	63
	自動一時停止の設定	65
	ボーラス注入速度の設定	67
<b>セクション3</b>	イベントマーカ	68
<b>セクション4</b>	タイマー	69
<b>セクション5</b>	ユーティリティ	75
<b>セクション6</b>	アラートとアラーム	77

## セクション1：履歴メニュー

履歴メニューでは、過去の情報を確認することができます。本セクションでは、履歴メニューで使用できる項目について、詳しく見ていきます。

操作方法
<p>1 [左]を押します 2 履歴が選択されるまで[下]を押して、[決定]を押します。</p> 

履歴メニューを選択すると、次の項目が表示されます。各項目を選択すると、次の情報を確認することができます。

サマリ	<ul style="list-style-type: none"><li>インスリンの1日総注入量を表示します。</li><li>基礎インスリンの総注入量、ボーラスの総注入量、総糖質量、注入したボーラスの内容、記録された血糖値を一覧にまとめて表示します。</li><li>1日のサマリや、7、14、30日間の平均値を算出してサマリを確認することができます。</li></ul>
1日の履歴	<ul style="list-style-type: none"><li>血糖値、ボーラス注入、一時基礎レートなど、実行した操作や入力したイベントを一覧で表示します。</li><li>左右ボタンにより前後の日付に移動することができます。</li></ul>
アラーム履歴	<ul style="list-style-type: none"><li>1日の間に発生したアラームやアラートを一覧で表示します。</li><li>左右ボタンにより前後の日付に移動することができます。</li></ul>

# その他の機能 | その他のインスリンの設定

## セクション2: その他のインスリンの設定

インスリンの設定メニューは、インスリン注入に関連する機能の設定や変更を行います。ここでは、本マニュアルで既に紹介している機能（基礎レートパターン設定やボーラスウィザード）以外の項目について紹介します。

### プリセット一時基礎の設定

プリセット一時基礎は、頻繁に同じ一時基礎レートを使用する場合に、必要なインスリン注入量と持続時間などを事前に設定（プリセット）しておく機能です。プリセット一時基礎を一度設定しておくと、次回以降、一時基礎レートを使用することやインスリン注入量や持続時間を入力する必要が無くなり、あらかじめ設定した項目を選択するだけで、簡単にインスリン注入を開始できます。

#### プリセット一時基礎を使用する

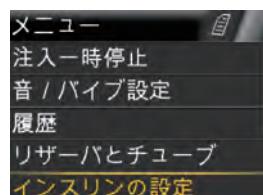
サトミさんは、大好きなエクササイズのクラスに週に何度も参加しています。クラスの開始前にはいつも同じ一時基礎レートを使用していましたが、毎回同じ値を入力することを面倒に感じていました。  
そこで**プリセット一時基礎設定**を行いました。次回からはクラス開始前に、設定した項目を選ぶだけの簡単な操作でインスリン注入が開始できるようになりました。



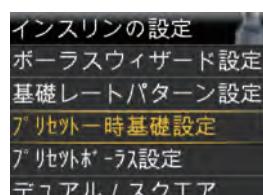
#### ① プリセット一時基礎の設定

##### 操作方法

- 1 (Ⓐ)を押します。
- 2 インスリンの設定が選択されるまで(Ⓑ)を押し、(Ⓒ)を押します。



- 3 プリセット一時基礎設定が選択されるまで(Ⓑ)を押し、(Ⓒ)を押します。



- 4 項目の追加を選択し、(Ⓒ)を押します。



プリセット一時基礎設定は8項目から選択できます。  
▪一時基礎1～4 ▪高度活動 ▪中等度活動 ▪軽度活動 ▪シックディ

# その他の機能 | 他のインスリンの設定

- 5 設定したい項目名が選択されるまで $\checkmark$ を押し、 $\circlearrowright$ を押します。

注:この例では、高度活動を使用します。

- 6  $\checkmark$ を押してパーセントを選択し、 $\circlearrowright$ を押します。

- 7  $\wedge$ または $\vee$ を押してパーセント値を入力し、 $\circlearrowright$ を押します。

注:注入する単位数を設定したい場合は、タイプを選択しレートに変更します。

この例では、パーセントが40%に設定されています。

- 8 持続時間を選択し、 $\circlearrowright$ を押します。

$\wedge$ を押して一時基礎レートに有効にしたい時間を入力します。

この例では、持続時間が1時間30分に設定されています。

- 9 保存を選択し、 $\circlearrowright$ を押します。

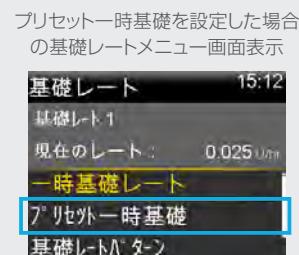
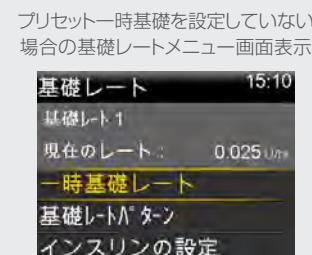
項目名の選択
一時基礎 1
高度活動
中等度活動
軽度活動
シックディ

高度活動レートの変更
タイプ パーセント
パーセント 40 %
持続時間 1:30 hr
<b>保存</b>

注:設定値は一例です。実際の設定や数値の決定は、主治医にご相談ください。



プリセット一時基礎を設定すると、ホーム画面から基礎レートメニューを選択した後の画面表示が変わります。



- 6  $\checkmark$  プリセット一時基礎注入を開始する

## 操作方法

プリセット一時基礎を使用する準備が整ったら、

- 1 ホーム画面で $\circlearrowright$ を押して基礎レートを選択し、 $\circlearrowright$ を押します。  
2  $\checkmark$ を押してプリセット一時基礎を選択し、 $\circlearrowright$ を押します。

基礎レート画面に  
プリセット一時基  
礎が表示されて  
います。

- 3 開始したいプリセット一時基礎を選択し、 $\circlearrowright$ を押します。

基礎レート	10:00
基礎レート 1	
現在のレート :	0.750 U/hr
一時基礎レート	
プリセット一時基礎	
基礎レートバーン	

基礎レート	10:00
基礎レート 1	
現在のレート :	0.750 U/hr
一時基礎レート	
プリセット一時基礎	
基礎レートバーン	

基礎レート	10:00
基礎レート 1	
現在のレート :	0.750 U/hr
一時基礎レート	
プリセット一時基礎	
基礎レートバーン	

**4** 開始を選択し、◎を押します。  
設定したプリセット一時基礎注入が実行された場合は、ホーム画面の表示が変更されますので確認してください。

通常のホーム画面  
プリセット一時基礎注入時の  
ホーム画面

注: 設定値は一例です。実際の設定や数値の決定は、主治医にご相談ください。

## プリセットボーラスの設定

繰り返し決まったボーラス注入を実施する場合、ボーラスをあらかじめプログラム設定して使用することができます。例えば、

- 食事ボーラス量が毎回同じ量に決まっている
- よく口にする食品で、炭水化物量と必要なインスリン注入量が分かっている

**プリセットボーラスを使用する**

ナオミさんは、毎朝飲むカフェ・ラテのボーラス注入量が1.7Uと計算されることが分かっていましたが、今までではボーラスウィザードを使用してボーラス注入をしており、その時間がもったいないと感じていました。そこで、1.7 Uのプリセットボーラス設定をすることにしました。今ではカフェ・ラテを飲む場合、毎回プリセットボーラスを活用し、ボーラス注入ができるので朝の忙しい時間を有効に使うことができるようになりました。

## （） プリセットボーラス設定

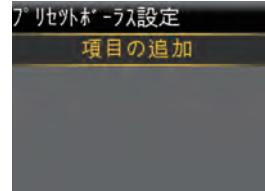
### 操作方法

- 1 ( ) を押します。
- 2 インスリンの設定が選択されるまで ( ) を押し、◎を押します。
- 3 プリセットボーラス設定が選択されるまで ( ) を押し、◎を押します。

インスリンの設定  
ボーラスウィザード設定  
基礎レートパターン設定  
プリセッター一時基礎設定  
プリセットボーラス設定  
デュアル / スクエア

# その他の機能 | その他のインスリンの設定

- 4 項目の追加を選択し、◎を押します。

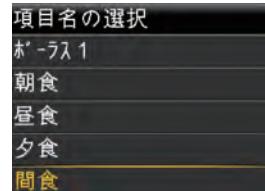


- 5 設定したい項目名が選択されるまで△を押し、◎を押します。

注:この例では、間食を使用します。



プリセットボーラス設定は、8項目から選択できます。  
■ボーラス1～4 ■朝食 ■昼食 ■夕食 ■間食



- 6 ボーラスを選択し、◎を押します。

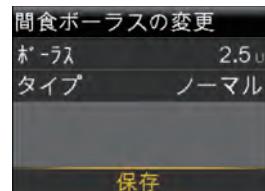
- 7 △を押してボーラス注入量を入力し、◎を押します。

注:この例ではボーラスが2.5Uに設定されています。

- 8 スクエアまたはデュアルウェーブとして設定したい場合は、  
タイプを選択し、◎を押します。

注:プリセットボーラスは、スクエアウェーブまたはデュアルウェーブボーラスとして設定することも  
できます。詳しくは本マニュアル57ページを参照してください。

- 9 保存を選択し、◎を押します。



注:設定値は一例です。実際の設定や数値の決定は、主治医にご相談ください。

## ✓ プリセットボーラス注入を開始する

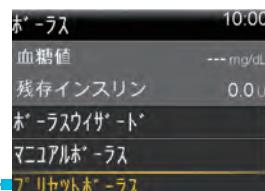
一度設定すると、ホーム画面でボーラスを選択したときにプリセットボーラスが表示されます。

### 操作方法

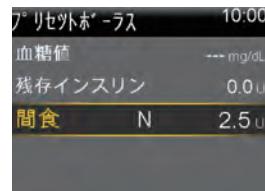
プリセットボーラスを使用する準備が整ったら、

- 1 ホーム画面でボーラスを選択し、◎を押します。  
2 プリセットボーラスが選択されるまで△を押し、◎を押します。

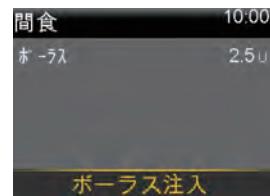
ボーラス画面に  
プリセットボー  
ラスが表示され  
ています。



- 3 開始したいプリセットボーラスを選択し、◎を押します。



- 4 ボーラス注入を選択し、○を押します。

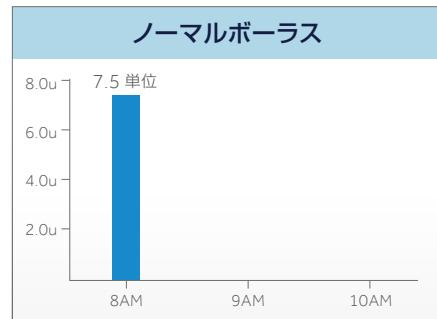


注：設定値は一例です。実際の設定や数値の決定は、主治医にご相談ください。

## デュアル／スクエアウェーブボーラスの設定

本マニュアル前半で紹介したボーラスは、ノーマルボーラスとして注入されます。ノーマルボーラスで注入されるインスリンは1回に短時間で注入されますが、これは糖質量の多い食事や血糖値の補正のために使用することが多いボーラスです。

ポンプでは、デュアルウェーブまたはスクエアウェーブボーラスという状況に合わせたインスリン注入が可能になります。ここでは、それぞれの機能について紹介します。

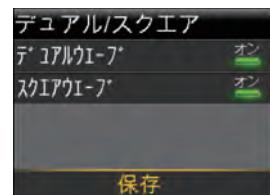
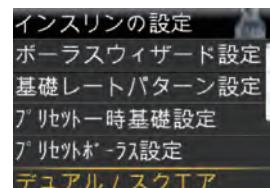


- ✓ デュアル／スクエアウェーブボーラスをオンに設定

### 操作方法

どちらのボーラスオプションを使用する場合も、最初に機能をオンにしなければなりません。

- 1 ○を押します。
- 2 インスリンの設定が選択されるまで○を押し、○を押します。
- 3 デュアル／スクエアが選択されるまで○を押し、○を押します。
- 4 デュアルウェーブが必要な場合は、オンにします。
- 5 スクエアウェーブが必要な場合は、オンにします。
- 6 保存を選択し、○を押します。

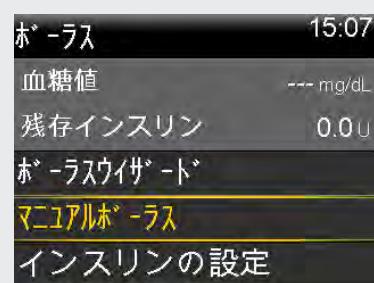


注：設定は一例です。実際の設定については、主治医にご相談ください。

## その他の機能 | その他のインスリンの設定

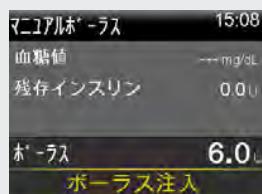


「デュアル/スクエアウェーブボーラス」を設定すると、ホーム画面からボーラスマニューを選択し、ボーラス注入量を設定した後の画面表示が変わります。

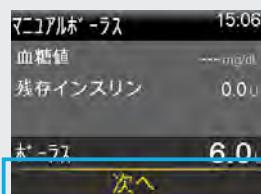


\*ボーラスワイザード設定時にホーム画面からボーラスマニューを選択すると  
下記のようなボーラスマニュー表示になります。

デュアル/スクエアウェーブボーラスを設定していない場合の  
ボーラスマニュー画面表示

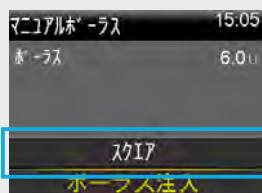


デュアル/スクエアウェーブボーラス(両方またはどちらか一方)を設定した場合のボーラスマニュー画面表示



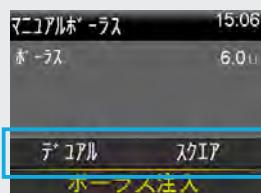
\*ボーラスワイザードを設定していない場合は、  
ホーム画面でボーラスを選択すると、すぐにマニュアルボーラス注入画面になります。

どちらか一方を設定した場合の  
ボーラス注入画面



\*この例はスクエアウェーブボーラスのみ設定した  
場合の画面です

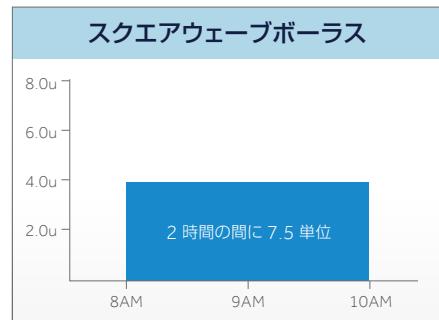
両方を設定した場合の  
ボーラス注入画面



## ■スクエアウェーブボーラスの設定

スクエアウェーブボーラスでは、長時間かけてボーラス注入を行います。例えば、次のような場合に使用します。

- 胃不全麻痺による消化の遅れに対処する場合
- 脂肪を多く含む食事を摂取する場合
- パーティのように、長時間に渡り少量ずつ炭水化物を摂取する場合



スクエアウェーブボーラスを設定する場合は、**ボーラス注入の持続時間（30分から8時間まで15分刻み）**を指定する必要があります。この時間設定は、個人差があり、使用する状況によっても異なります。

\*持続時間は主治医と相談し、決定してください。

注：ボーラスワイヤードにより高血糖に対する補正ボーラス注入が必要と判断された場合、スクエアウェーブボーラスは注入できません。ポンプが高血糖に対する補正ボーラス注入を優先するためです。

## スクエアウェーブボーラスを使用する

タカシさんはデスクで仕事をしながら食事をしますが、中断せざるを得ないことが多く、食べ終えるまでに少し時間が掛かります。

タカシさんは、糖質が消化される前にインスリンが作用し始めないよう、昼食のボーラスを45分間のスクエアウェーブにしています。



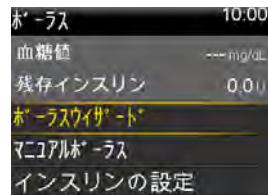
# その他の機能 | その他のインスリンの設定

## ✓ スクエアウェーブボーラス注入を開始する

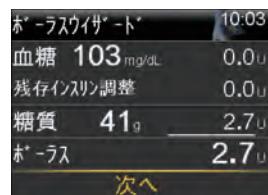
この例では、ボーラスウィザードを用いたスクエアウェーブボーラスの注入について説明します。

### 操作方法

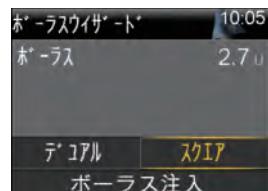
- 1 ホーム画面でボーラスを選択し、○を押します。
- 2 ボーラスウィザードを選択し、○を押します。



- 3 血糖を選択し、○を押します。
- 4 ⌈または⌋を押して血糖値を入力し、○を押します。  
注: この例では、血糖が103 mg/dLに設定されています。
- 5 糖質を選択し、○を押します。
- 6 ⌈または⌋を押して糖質量を入力し、○を押します。  
注: この例では、糖質が41gに設定されています。
- 7 次へを選択し、○を押します。



- 8 ⌈または⌋を押してスクエアを選択し、○を押します。



- 9 持続時間を選択し、○を押します。
- 10 ⌈または⌋を押してボーラス注入の持続時間を入力し、○を押します。
- 11 ボーラス注入を選択し、○を押します。

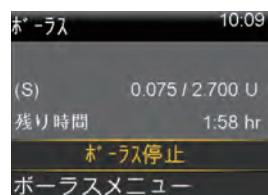


ボーラス注入が終了するまで、ホーム画面にはボーラス(S)と表示されます。

## ■ スクエアウェーブボーラスを停止する

### 操作方法

- 1 ホーム画面でボーラス(S)を選択し、○を押します。
- 2 ボーラス停止を選択し、○を押します。



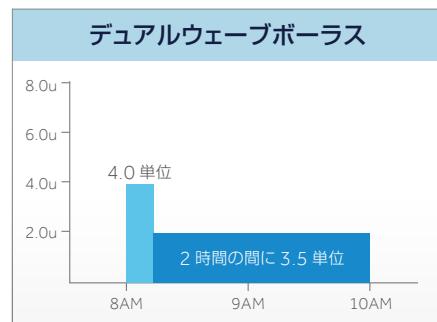
注: 設定値は一例です。実際の設定や数値の決定は、主治医にご相談ください。

## ■ デュアルウェーブボーラスの設定

デュアルウェーブボーラスは、ノーマルボーラスとスクエアウェーブボーラスを組み合わせたものです。ボーラスの一部はノーマルボーラスとして（今すぐ）、一部はスクエアで（時間をかけて）注入されます。

例えば、次のような場合に使用します。

- 糖質と脂肪の両方を多く含む食事を摂取する場合



\*脂肪は、糖質の消化を遅らせます。インスリン注入量の一部をノーマルボーラスとして注入することで、急激な血糖値の上昇に対処し、残りをスクエアウェーブとして時間をかけて注入することで、遅れて始まる血糖値の上昇に対処することが可能になります。

デュアルウェーブボーラスを設定する場合は、次の数値を指定する必要があります。

- すぐに注入したいインスリンの量と時間を掛けて注入したいインスリンの量
- スクエアウェーブボーラスの注入を持続させたい時間



この時間は、個人またはデュアルウェーブボーラスを使用する食事に含まれる食品の種類によっても異なります。  
実際の設定や数値の決定は、主治医にご相談ください。

## デュアルウェーブボーラスを使用する

ピザを食べたとき、マユミさんの血糖値はしばらくの間は良好でしたが、3~4時間後に上昇していました。

そこで、遅れて上昇してくる血糖値に対するインスリン注入を行うために、デュアルウェーブボーラスを使用することにしました。今では、デュアルウェーブボーラスを使用して、食後の血糖管理に役立てています。



### ① デュアルウェーブボーラス注入を開始する

この例では、ボーラスウィザードを用いたデュアルウェーブボーラスの注入について説明します。

#### 操作方法

- ホーム画面でボーラスを選択し、○を押します。
- ボーラスウィザードを選択し、○を押します。

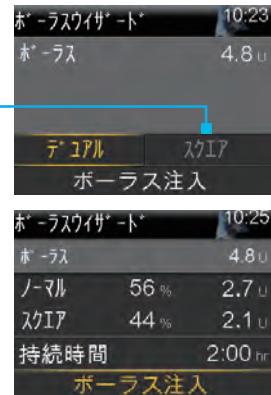
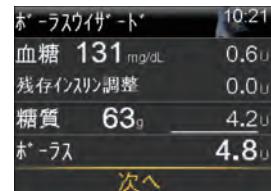
ボーラス	10:20
血糖値	--- mg/dL
残存インスリン	0.0U
ボーラスウィザード	
マニキュアルボーラス	
インスリンの設定	

# その他の機能 | その他のインスリンの設定

- 3 血糖を選択し、◎を押します。
- 4 ▲または▽を押して血糖値を入力し、◎を押します。  
注:この例では、血糖が131 mg/dLに設定されています。
- 5 糖質を選択し、◎を押します。
- 6 ▲または▽を押して糖質量を入力し、◎を押します。  
注:この例では、糖質が63gに設定されています。また、合計ボーラス注入量は、血糖値補正用の0.6 Uと、糖質用の4.2 Uの合計であることに注目してください。
- 7 次へを選択し、◎を押します。
- 8 ▲を押してデュアルを選択し、◎を押します。

補正ボーラスが必要と判断された場合は、インスリンをすぐに注入する必要があるため、スクエアは選択できません。

- 9 ノーマルを選択し、◎を押します。
- 10 ▲または▽を押してボーラス注入量を変更し、ノーマルとスクエアの値を設定します。  
注:この例では、ノーマルのボーラス注入量が2.7Uに設定されています。
- 11 持続時間を選択し、◎を押します。
- 12 ▲を押してボーラス注入の持続時間を入力し、◎を押します。  
注:この例では、持続時間が2時間に設定されています。
- 13 ボーラス注入を選択し、◎を押します。



ノーマルボーラス注入中は、ホーム画面にボーラス(D)と表示されます。



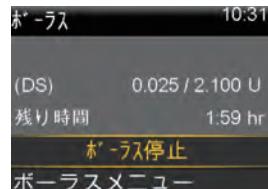
スクエアウェーブボーラスの注入が終了するまで、ホーム画面にはボーラス(D)と表示されます。



## ■ デュアルウェーブボーラス注入を停止する

### 操作方法

- 1 ホーム画面でボーラス(D)を選択し、◎を押します。
- 2 ボーラス停止を選択し、◎を押します。



注: 設定値は一例です。実際の設定や数値の決定は、主治医にご相談ください。

## イージーボーラス

イージーボーラスを使用すると、ポンプの $\triangleleft$ ボタンを用いてボーラス注入が可能になります。ボーラス注入量は、 $\triangleleft$ を押した回数で判断します。

この機能は、例えば次のような場合に使用します。

- 食事用にマニュアルボーラスを注入している場合
- 正確にボーラスを注入したい場合
- 音やパイプによりボーラス注入量を確認したい場合

イージーボーラスを使用する前に、機能をオンにしてステップ値を設定する必要があります。ステップ値とは、 $\triangleleft$ ボタンを1回押すごとの注入量です。このステップ値の単位を覚えておくことは、とても重要です。例えば、ステップ値の設定が0.5 Uで3.0 Uのボーラス注入量が必要な場合は、 $\triangleleft$ を6回押すだけで注入が可能になります。

### イージーボーラスを使用する

タクヤさんは、間食を摂りながら打合せに出席することが多く、いつも血糖値が上昇していないか心配していました。

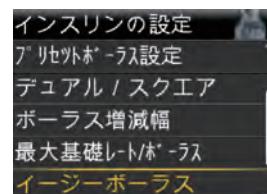
イージーボーラスを使用するとボタン1つで操作することができ、設定したボーラス注入量に応じて異なる回数の音またはパイプで通知されるため、より正しく注入量を確認できると考えています。



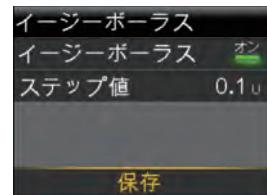
### イージーボーラスの設定

#### 操作方法

- 1  $\circlearrowleft$ を押します
- 2 インスリンの設定選択し、 $\circlearrowright$ を押します。
- 3 イージーボーラス選択し、 $\circlearrowright$ を押します。
- 4 イージーボーラスをオンにします。



- 5  $\checkmark$ を押してステップ値を選択し、 $\circlearrowright$ を押します。
- 6  $\triangleleft$ を押してステップ値を変更し、 $\circlearrowright$ を押します。  
注: この例では、ステップ値が0.1Uに設定されています。
- 7 保存を選択し、 $\circlearrowright$ を押します。



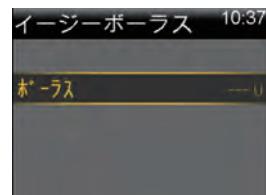
注: 設定値は一例です。実際の設定や数値の決定は、主治医にご相談ください。

## ① イージーボーラス注入を開始する

### 操作方法

- 1 スリープモードの状態で、を長押しします。

注: 音またはバイブの後、イージーボーラス画面が表示されます。

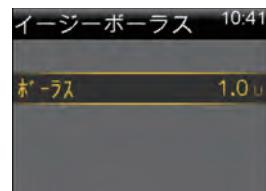


音またはバイブが起こらない場合は、スリープモードではない可能性があります。  
メニューボタンを約2秒間長押ししてスリープモードにしてから、再度を長押ししてください。

- 2 ステップ値を基に、ボーラス注入量に相当する回数分のを押します。

注: ボタンを押すたびに、音またはバイブが発生します。

ボーラス量が1.0Uのこの例では、を10回押しています。(ステップ値が0.1Uのため)



- 3 を長押しして設定したボーラス注入量を決定します。

注: 決定されたボーラス注入量分が音またはバイブで通知されます。

この回数を数えてボーラス注入量に間違いがないことを確認します。

注: ボーラス注入量が正しくない場合は、を押して注入作業をキャンセルし、手順 1 に戻って再度やり直します。

- 4 決定したボーラス注入量が正しい場合は、再度を長押しします。

この操作でボーラス注入が開始されます。

注: 設定値は一例です。実際の設定や数値の決定は、主治医にご相談ください。



**重要:** 手順の途中でを押すと、イージーボーラスの注入がキャンセルされます。  
その場合、音が3回鳴りボーラス注入が行われないことを通知します。

## 自動一時停止の設定

自動一時停止は、あらかじめ設定した時間にどのボタンも押さずにいるとアラームが発生し、すべてのインスリン注入を停止する安全機能です。

自動一時停止は、個人の生活のスケジュールに合わせて設定します。

1つの例を紹介します(夜間の睡眠時間に合わせて設定する場合の例)。

毎晩22:00頃に血糖値を測定し、ポンプの確認を行います(ここでボタンが押されます)。

23:00に就寝し朝は7:00に起床し、8:00頃朝食を摂ります。

上記の例の場合は、

- 自動一時停止を8時間に設定しどのボタンも押さずにいると、6:00にアラームが発生します。起床時間が7:00のため、これでは睡眠中にアラームが発生してしまい、睡眠を妨げてしまう可能性があります。
- 自動一時停止を12時間に設定すると、どのボタンも押されなかった場合、10:00にアラームが発生します。万が一、低血糖昏睡などで10:00までに起床できず、ボタン操作が無い場合は、アラームが発生しインスリン注入が自動で停止します。

注:設定値は一例です。実際の設定や数値の決定は、主治医にご相談ください。

### 自動一時停止を使用する

ミサキさんは走ることが趣味ですが、走った日の夜はいつもより低血糖になりやすい傾向があることに気づきました。

ミサキさんは時々一時基礎レートを使用しますが、自動一時停止機能を使用すると、起床すべき時間に目を覚まさなかった場合でもポンプがインスリン注入を停止しアラームが発生するため、安心して眠ることができます。

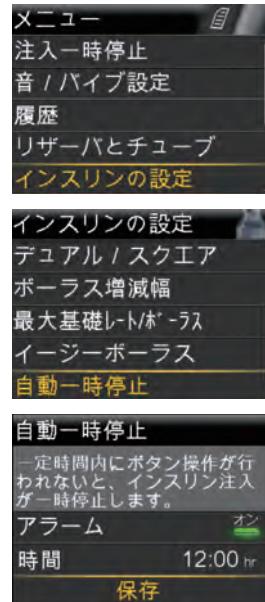


注: 設定は一例です。実際の設定については、主治医にご相談ください。

## 自動一時停止を設定する

### 操作方法

- 1 (1)を押します。
- 2 インスリンの設定が選択されるまで(2)を押し、(3)を押します。
- 3 自動一時停止が選択されるまで(4)を押し、(5)を押します。
- 4 アラームをオンにします。
- 5 (6)を押して時間を選択し、(7)を押します。  
注:この例では、時間は12時間に設定されています。
- 6 (8)または(9)を押して自動一時停止の時間を変更し、(10)を押します。
- 7 保存を選択し、(11)を押します。



注: 設定値は一例です。実際の設定や数値の決定は、主治医にご相談ください。

## ボーラス注入速度の設定

ボーラス注入速度では、ノーマルボーラスを注入する時間を指定します。標準では1分間に1.5単位の速度で、急速では1分間に15単位の速度でボーラス注入が行われます。

注：実際の設定は、主治医にご相談ください。

### ボーラス注入速度の設定

タカアキさんは、20～25単位のボーラスを注入することが少なくありません。  
そこで、ボーラス注入に時間が掛からないよう、ボーラス注入速度を急速に設定しています。



注：設定値は一例です。実際の設定や数値の決定は、主治医にご相談ください。

#### ① ボーラス注入速度を設定する

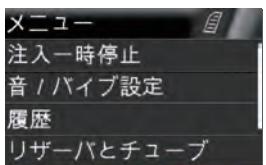
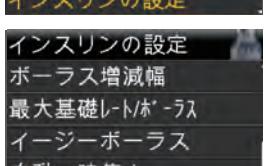
#### 操作方法

1 Ⓛを押します。  
2 インスリンの設定が選択されるまでⒷを押し、Ⓐを押します。

3 ボーラス注入速度が選択されるまでⒷを押し、Ⓐを押します。

4 設定したい速度を選択し、Ⓐを押します。  
5 保存を選択し、Ⓐを押します。

**有効なボーラス注入速度にチェックマークがついていることを確認してください。**

注：設定値は一例です。実際の設定については、主治医にご相談ください。

## セクション3: イベントマーカ

イベントマーカでは、治療に関連する特定のイベントがいつ発生したかを記録することができます。イベントマーカを使用すると、次のイベントを記録できます。

血糖値	ボーラスウィザードを使用しない場合の血糖値
インスリン注射	注射で補充したインスリン注入量
食事	ボーラスウィザードを使用しない場合の摂取糖質量
運動	運動時間。これにより、運動が血糖値に及ぼす影響をよりよく理解することができます。 運動開始前、後など、入力するタイミングを主治医にご相談ください。
その他	低血糖イベントや糖尿病薬の服薬、間食など ※「その他」の内容については主治医にあらかじめご相談ください。

### イベントマーカを使用する

ヒロシさんは定期的に運動をしますが、運動が血糖値にどのように影響するのかを確認したいと考えています。

そこで、運動開始時には運動のイベントマーカを入力します。

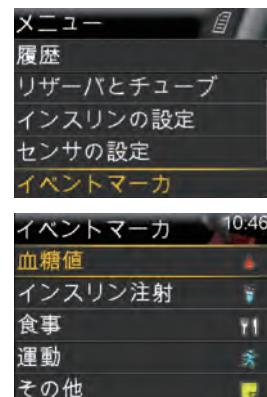


### ① イベントマーカを入力する

#### 操作方法

- 1 Ⓛを押します
- 2 イベントマーカが選択されるまで ⓘを押し、Ⓐを押します。

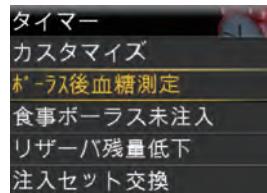
- 3 設定したいイベントが選択されるまで ⓘを押し、Ⓐを押します。
- 4 情報を入力、または選択し、Ⓐを押します
- 5 ⓘを押して数量を入力し、Ⓐを押します。
- 6 保存を選択し、Ⓐを押します。



注：設定は一例です。実際の設定については、主治医にご相談ください。

## セクション4: タイマー

右のタイマーメニューに表示されている5数種類のタイマーを設定することができます。



### ■ タイマーの設定

目覚まし時計のように、何時でも好きな時間に音またはバイブ、もしくはその両方で通知するように設定できます。例えば、血糖値測定の実行、服薬、その他理由を問わず覚えておきたいことを忘れないために設定します。

#### ① タイマーを設定する

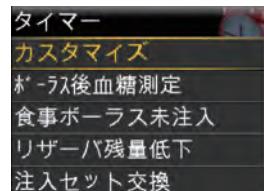
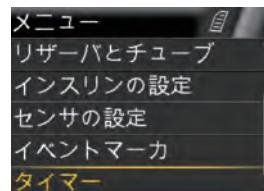
##### 操作方法

- 1 を押します。
- 2 タイマーが選択されるまで を押し、 を押します。
- 3 カスタマイズを選択し、 を押します。
- 4 項目の追加を選択し、 を押します。
- 5 設定したい項目名が選択されるまで を押し、 を押します。
- 6 時刻を選択し、 を押します。



タイマーの設定は5種類から選択できます。  
 • カスタマイズ • 食事ボーラス未注入 • リザーバ残量低下  
 • 注入セット交換 • 軟正（センサ機能をオンにした際のみ表示）

- 7 または を押して時刻を入力し、 を押します。  
注: この例では、時刻が06:30に設定されています。
- 8 保存を選択し、 を押します。



注: 設定値は一例です。実際の設定や数値の決定は、主治医にご相談ください。

## ■ ボーラス後血糖測定の設定

ボーラス後血糖測定をオンに設定すると、ボーラス注入時に注意を喚起するタイマーを設定することができます。例えば、食事の2時間後や高血糖時の補正ボーラス注入の1時間後などに、忘れずに血糖値測定を行う場合に使用します。

### ボーラス後血糖測定を使用する

ポンプを使い始めた時、チカさんは、食事のボーラス注入後に2時間のボーラス後血糖測定を設定しました。  
その後、主治医と一緒に糖質比の調節を行い、今では摂取する食事に適正な量のインスリンを補充しています。

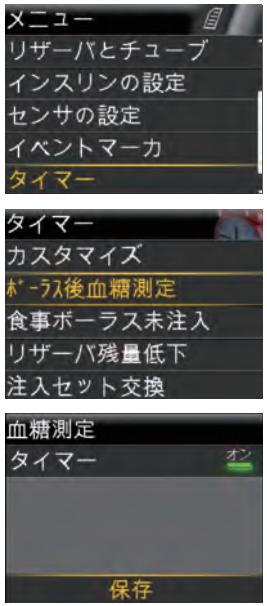


注：設定値は一例です。実際の設定や数値の決定は、主治医にご相談ください。

### ✓ ボーラス後血糖測定タイマーをオンに設定する

#### 操作方法

1 Ⓛ を押します。  
2 タイマーが選択されるまで Ⓝ を押し、Ⓐ を押します。  
3 Ⓝ を押してボーラス後血糖測定を選択し、Ⓐ を押します。



4 タイマーをオンにします。  
5 保存を選択し、Ⓐ を押します。

注：設定値は一例です。実際の設定や数値の決定は、主治医にご相談ください。

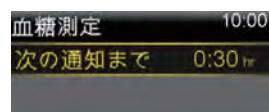
ボーラス後血糖測定をオンに設定すると、ボーラス注入時にタイマーを設定することができます。ボーラス注入量入力後、血糖測定が画面表示され、通知までの時間を設定することができます。

## ④ ボーラス後血糖測定タイマーを設定する

### 操作方法

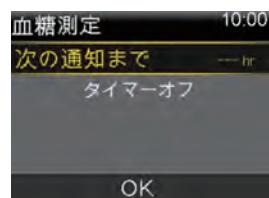
ボーラス注入後に、

- 1 ⌂を押して次に通知される時間を入力し、◎を押します。  
注:この例では、次の通知までが30分に設定されています。
- 2 OKを選択し、◎を押します。



ボーラス注入後のタイマーを希望しない場合は、

- 1 ⌂を押してタイマーオフを選択し、◎を押します。
- 2 OKを選択し、◎を押します。

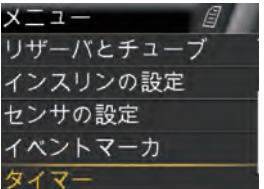
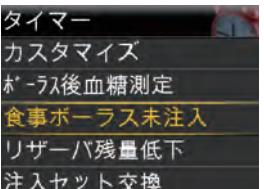
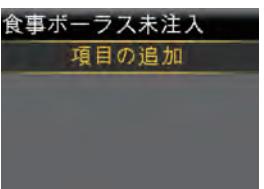


注: 設定値は一例です。実際の設定や数値の決定は、主治医にご相談ください。

## ■ 食事ボーラス未注入の設定

食事ボーラス未注入タイマーは、設定された食事／間食時間にボーラス注入が行われなかった場合に通知します。例えば、いつも12:00に昼食を摂るけれども、仕事が忙しくボーラス注入を忘れることが多い人がいるとします。この場合は、タイマーを11:00～13:00に設定すると、この時間内にボーラス注入が行われない場合に通知されます。この時間内にボーラス注入があった場合は通知されません。食事をしてボーラス注入を忘れていた場合は、血糖値を測定し、必要に応じてボーラス注入を行ってください。

### ① 食事ボーラス未注入タイマーを設定する

操作方法	
<p>1 Ⓛを押します。</p> <p>2 タイマーが選択されるまで ⓘを押し、○を押します。</p> <p>3 食事ボーラス未注入が選択されるまで ⓘを押し、○を押します。</p> <p>4 項目の追加を選択し、○を押します。</p> <p>5 開始時刻を選択し、○を押します。</p> <p>6 Ⓢを押して開始時刻を入力し、○を押します。 注:この例では、開始時刻が06:30に設定されています。</p> <p>7 終了時刻を選択し、○を押します。</p> <p>8 Ⓢを押して終了時刻を入力し、○を押します。 注:この例では、終了時刻が09:00に設定されています。</p> <p>9 保存を選択し、○を押します。</p>	   

注: 設定値は一例です。実際の設定や数値の決定は、主治医にご相談ください。

## ■リザーバ残量低下の設定

リザーバの残量（単位）が設定した数量まで低下すると、ポンプがリザーバ残量低下を通知します。初期設定は20単位で、この場合、リザーバ残量が20単位に達した時にリザーバ残量低下が通知されます。また、設定の半分量（10単位）に達した時に再度通知されます。単位数は、個人のニーズに合わせて5U～50U（単位）の間で設定することができます。

**ボーラス後血糖測定を使用する**

ツトムさんは、普段15～20単位の食事ボーラスを注入します。  
そこで、リザーバ残量低下の単位数を40単位に増やしました。仕事に出掛けた後にタイマーが通知されても、まだ昼食、軽食、基礎レートに必要な量のインスリンが十分残っていることが分かっています。



注：設定値は一例です。実際の設定や数値の決定は、主治医にご相談ください。

### リザーバ残量低下タイマーを設定する

**操作方法**

- 1  を押します。
- 2 タイマーが選択されるまで  を押し、 を押します。
- 3 リザーバ残量低下が選択されるまで  を押し、 を押します。
- 4  を押して **単位**を選択し、 を押します。
- 5  または  を押して **タイマーが通知される単位**を入力し、 を押します。  
注：この例では、**単位**が30Uに設定されています。
- 6 **保存**選択し、 を押します。

メニュー	リザーバとチューブ
インスリンの設定	センサの設定
イベントマーク	タイマー
タイマー	カスタマイズ
ボーラス後血糖測定	食事ボーラス未注入
リザーバ残量低下	リザーバ残量低下
注入セット交換	タイプ
	単位
	単位
	30 U
保存	

注：設定値は一例です。実際の設定や数値の決定は、主治医にご相談ください。



リザーバ残量低下のアラートは、単位と時間のどちらでも設定することができますが、単位を選択することを推奨します。残時間は1時間あたりの基礎インスリンを基にしたもので、ボーラス注入を行うと、残時間が予想より早く減少する場合があります。

## ■ 注入セット交換の設定

注入セット交換は、注入セットの交換時期を通知します。設定は、2日または3日から選択できます。機能をオンにすると、前回の交換から2日(48時間)または3日(72時間)後にメッセージが通知されます。

### （チェックマーク）注入セット交換タイマーの設定

**操作方法**

1 (▲)を押します。

2 タイマーが選択されるまで(▼)を押し、(○)を押します。

3 注入セット交換が選択されるまで(▼)を押し、(○)を押します。

4 タイマーをオンにします。

5 (▼)を押して時間を選択し、(○)を押します。

6 別の日数の方がよければ(△)または(▼)を押して変更し、(○)を押します。  
注:この例では時間が3日に設定されています。

7 保存を選択し、(○)を押します。

The first screenshot shows the main navigation menu with '注入セット交換' (Injection Set Exchange) highlighted. The second screenshot shows the 'Timer' section of the menu with '注入セット交換' also highlighted. The third screenshot shows the final settings confirmation screen where the timer is set to 3 days.

注: 設定値は一例です。実際の設定や数値の決定は、主治医にご相談ください。

## ■ タイマー解除の設定

設定したタイマーは、いつでも変更、解除することができます。タイマーを選択し、設定したいオプションを選択するだけで、この操作を実行することができます。

# その他の機能 | ユーティリティ

## セクション5: ユーティリティ

ユーティリティには、これまで紹介していないポンプの使用に関する様々な機能や設定が含まれます。

ユーティリティには次の手順でアクセスします。

操作方法	
1	(回)を押します。
2	ユーティリティが選択されるまで(△)を押し、(○)を押します。
3	設定したいメニュー項目が選択されるまで(△)を押し、(○)を押します。

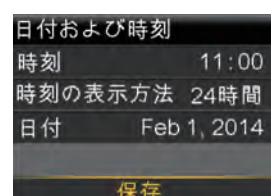
各メニュー項目の簡単な説明は、以下のとおりです。

### ■ 機内モード

機内モードは、ポンプと接続したトランスマッタ間の無線通信を一時的に停止するものです。飛行機内で、無線デバイスの電源を切るよう指示された場合に使用します。この機能については別冊の「リアルタイムCGM簡易マニュアル（ミニメド640Gシステム用）」の43ページをご確認ください。

### ■ 日付および時刻

例えば、時差のある場所への旅行などに、ポンプの日付と時刻を変更する必要が生じる場合があります。



### ■ ロック

ロック機能は、例えば、保護者が重要なポンプの設定や機能へのアクセスを制限する際に使用できる機能です。ロックをオンにすると、お子様はボーラス注入や基礎レート変更などの操作をすることができなくなります。アクセスできない機能はグレーで表示され、選択できません。ボーラス注入が必要な場合や、一時基礎注入開始の場合などはロックをオフにする必要がありますが、その後、再度オンにすることができます。

## ■セルフテスト

セルフテストでは、画面表示、通知ライト、バイブ、音がすべて正しく機能するかどうかを確認します。このテストは、ポンプが実行するルーチンテストに加えて実行されるものです。問題が検知された場合は、ポンプ画面にメッセージが表示されます。その場合は、日本メドトロニック24時間サポートライン（TEL:0120-56-32-56）にご連絡ください。

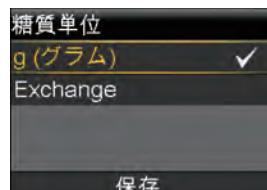


**重要：**ポンプのセルフテストの実行中は、インスリン注入が最長で2分間一時停止します。

## ■糖質単位

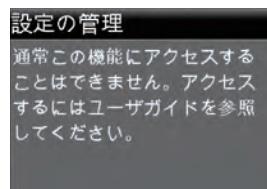
糖質単位では、ボーラスウィザードに食事を入力する際やイベントマーカを使用する際に、g(グラム) 使用からExchange使用に変更することができます。

有効にした内容にチェックマークがついていることを確認してください。



## ■設定の管理

設定の管理では、設定の保存、設定の復元、全設定の消去、残存インスリン消去、全設定の消去ができます。設定の管理を選択すると、右の画面が表示されます。画面にアクセスする場合は、①と②を同時に長押ししてください。



設定の保存	新しい設定の入力、設定変更がある場合は、この操作で保存できます。
設定の復元	保存した設定を復元する場合に使用します。設定の再入力が必要な場合に使用します。
全設定の消去	この操作は主治医と相談し、実行してください。
残存インスリン消去	この操作は一度だけ使用可能です。 使用開始前のトレーニングで一旦記録されたボーラス注入をリセットすることができます。
設定の履歴	設定の保存、設定の復元、解除を行った日時を一覧表示します。

## ■センサデモ

センサデモでは、CGMを使用した場合のアラートを試し、グラフ表示例を確認することができます（いずれもサンプル）。



## ■言語

言語を選択することができます。

# その他の機能 | アラートとアラーム

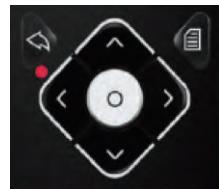
## セクション6: アラートとアラーム

### ■ アラート

アラートは、注意の必要がある状況を通知する機能です。アラートが発生したら、ポンプを確認する必要があります。アラートには、リザーバ残量低下や電池残量低下などがあります。

アラートが発生すると、

通知ライト	ポンプの赤いライトが1回点滅し、しばらく間を置いて再度点滅します。 アラートが解除されるまで、この点滅と小休止が繰り返されます。 点滅パターンは次の通りです。
音/パイプ	音/パイプ設定に従い、音またはパイプ、もしくは両方で通知されます。
画面表示	ポンプ画面には黄色のアイコンとともに通知内容が表示され、対処方法に関する指示が表示されます。



アラートに対処し、解除するには、

操作方法
<p>1 画面の表示を読んでアラートの内容と対処すべき手順を確認します。      2 <input checked="" type="radio"/> を押します。      3 対処方法を選択して <input checked="" type="radio"/> を押します。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>ポンプ電池残量低下 </p> <p>15:00</p> <p>電池を交換してください。</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>ポンプ電池残量低下 </p> <p>15:00</p> <p>電池を交換してください。</p> <p><input checked="" type="radio"/> を押します。</p> </div> </div>

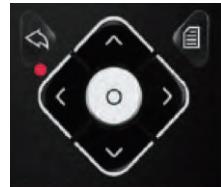
アラートに対処せずにいると、5分毎に音またはパイプが繰り返され、アラートが解除されるまで続きます。

## ■ アラーム

アラームは、全てのインスリン注入が停止している場合に通知されます。この場合、直ちにアラームに対処することが重要です。アラームの例は、インスリン注入遮断や要電池交換などがあります。

アラームが発生すると、

通知ライト	ポンプの赤いライトが2回点滅し、しばらく間を置いて再度点滅します。 アラートが解除されるまで、この点滅と小休止が繰り返されます。 点滅パターンは次の通りです。
音/パイプ	音/パイプ設定に従い、音またはパイプ、もしくは両方で通知されます。
画面表示	ポンプ画面には赤色のアイコンとともに通知内容が表示され、対処方法に関する指示が表示されます。



アラームに対処し、解除するには、

操作方法
<p>1 画面の表示を読んでアラームの内容と対処すべき手順を確認します。      2 <input checked="" type="checkbox"/> を押します。      3 対処方法を選択して○を押します。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>インスリン注入遮断</p> <p>15:00</p> <p>血糖を測定してください。</p> <p>インスリン注射とケトン体測定を考慮してください。</p> <p>リザーバーと注入セットを交換</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>▼を押します。</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>インスリン注入遮断</p> <p>リザーバーと注入セットを交換してください。</p> <p>基礎レート再開</p> <p>巻戻し</p> </div> </div>

アラームに対処せずにいると、10分間、1分毎に音またはパイプが繰り返されます。10分後にアラームはサイレンに変わります。

**重要：インスリン注入遮断**：このアラームは、インスリンがユープまたはカニューレから注入されていない状況を示します。アラームが発生したら、注入セットの接続、チューブのねじれがないかを確認してください。

i

- 問題が見つからない場合は、**基礎レート再開**を選択してください。再度インスリン注入遮断アラームが発生した場合は、画面に表示された手順に従ってください。**巻戻し**を選択し、リザーバーと注入セットを交換してください。
- 問題が見つかった、またはリザーバーのインスリンがなくなっていた場合は、画面に表示された手順に従ってください。**巻戻し**を選択し、リザーバーと注入セットを交換してください。

# ポンプ操作の早見表

早見表は切り取って、すぐに取り出せる場所にしまっておいてください。内容は次の通りです。

インスリンポンプ設定ガイド	80
基礎レートに関する早見表	81
ボーラスウィザードに関する早見表	83
クイックセット注入セットの交換	85

# ポンプ操作の早見表

## インスリンポンプ設定ガイド

パラダイム インスリンポンプを使用していた場合、本シートにその設定を記入し、新しいポンプの設定移行に活用してください。

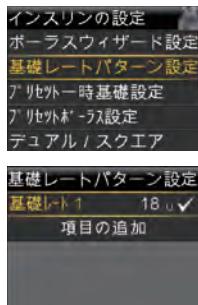
ボーラスの設定	
最大ボーラス量	
Main Menu ▶ Bolus ▶ Max Bolus(最大ボーラス量) _____単位	
デュアル／スクエアボーラス	
Main Menu ▶ Bolus ▶ Dual/Square Bolus(デュアル／スクエアボーラス) <input type="checkbox"/> オン <input type="checkbox"/> オフ	
イージーボーラス	
Main Menu ▶ Bolus ▶ Easy Bolus (イージーボーラス) <input type="checkbox"/> オン _____単位 <input type="checkbox"/> オフ	
血糖値測定タイマー	
Main Menu ▶ Bolus ▶ BG Reminder(血糖値測定タイマー) <input type="checkbox"/> オン <input type="checkbox"/> オフ	
ボーラスウィザードの設定	
Main Menu ▶ Bolus ▶ Bolus Wizard Setup(ボーラスウィザード設定) ▶ Edit Settings(設定の変更)	
Wizard (ウィザード)	
<input type="checkbox"/> オン <input type="checkbox"/> オフ	
Carb Units (糖質単位)	
<input type="checkbox"/> g(グラム) <input type="checkbox"/> Exch(Exchange比)	
Carb Ratios (糖質比)	
1: _____ g/U or U/exch 2: _____ g/U or U/exch 3: _____ g/U or U/exch	
Sensitivity (インスリン効果値)	
1: _____ mg/dL/U 2: _____ mg/dL/U 3: _____ mg/dL/U	
BG Target (目標血糖値)	
1: _____ mg/dL 2: _____ mg/dL 3: _____ mg/dL	
Active Ins Time (残存インスリン時間)	
_____ 時間	

基礎レートの設定	
最大基礎レート	
Main Menu ▶ Basal ▶ Max Basal Rate(最大基礎レート) _____ U/H	
基礎レート(ベーサル)	
Main Menu ▶ Basal ▶ Basal Review(基礎レートレビュー) 1: _____ U/H (単位/時間) 2: _____ U/H (単位/時間) 3: _____ U/H (単位/時間) 4: _____ U/H (単位/時間) 5: _____ U/H (単位/時間) 6: _____ U/H (単位/時間)	
一時基礎レートの種類	
Main Menu ▶ Basal ▶ Temp Basal Type(一時基礎レートの種類) <input type="checkbox"/> U/H <input type="checkbox"/> 基礎レートのパーセント	
基礎レートパターン	
Main Menu ▶ Basal ▶ Patterns(パターンズ) <input type="checkbox"/> オン <input type="checkbox"/> オフ	
基礎レートパターンA	
Main Menu ▶ Basal ▶ Basal Review ▶ Pattern A 1: _____ U/H (単位/時間) 2: _____ U/H (単位/時間) 3: _____ U/H (単位/時間) 4: _____ U/H (単位/時間)	
基礎レートパターンB	
Main Menu ▶ Basal ▶ Basal Review ▶ Pattern B 1: _____ U/H (単位/時間) 2: _____ U/H (単位/時間) 3: _____ U/H (単位/時間) 4: _____ U/H (単位/時間)	
Utilities(ユーティリティ)	
Alarm(アラーム)	
Main Menu ▶ Utilities ▶ Alarm	
Alert Type (アラートの種類)	
<input type="checkbox"/> Beep Long(警告音:長) <input type="checkbox"/> Beep Medium(警告音:中) <input type="checkbox"/> Beep Short(警告音:短) <input type="checkbox"/> Vibrate(バイブ)	
Auto Off (オートオフ)	
<input type="checkbox"/> オン _____ 時間	
Resv Warning Type (リザーバ残量低下)	
<input type="checkbox"/> Insulin Unit _____ 単位 <input type="checkbox"/> Time _____ 時間	

## 基礎レートに関する早見表

### 基礎レートの変更

- ホーム画面で基礎レートを選択します。
- インスリンの設定を選択します。
- 基礎レートパターン設定を選択します。



- 変更したい基礎レートパターンを選択します。
- オプションを選択します。
- 変更を選択します。

- 時間帯のところで○を押します。
- 終了を選択し、△または▽を押して時間を変更し○を押します。
- U/hrを選択し△または▽を押してU/hrの数値を変更し○を押します。



- 完了を選択します。

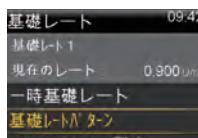


- レートを確認し、保存を選択します。

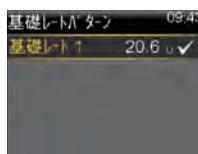


### 基礎レートパターンの確認

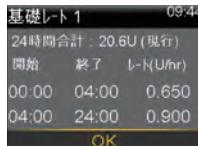
- ホーム画面で基礎レートを選択します。
- 基礎レートパターンを選択します。



- 確認したい基礎レートパターンを選択します。



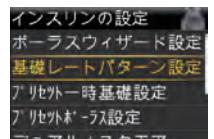
- 基礎レートを確認します。  
注:右端にスクロールバーが表示されている場合は、○を押して、基礎レートパターンのすべての基礎レートを確認してください。



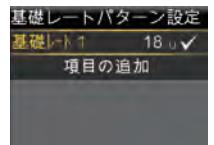
- OKを選択します。

### 基礎レートパターンに基づき基礎レートを追加

- ホーム画面で基礎レートを選択します。
- インスリンの設定を選択します。
- 基礎レートパターン設定を選択します。



- 追加したい基礎レートパターンを選択します。
- オプションを選択します。
- 変更を選択します。



- 時間帯のところで○を押します。
- 新たな終了の時刻を入力し(追加しようとしている基礎レートの開始時間と同じ時刻です)、○を押します。



- U/hrの数値を変更しない場合は、○を押します(変更の必要がある場合は、△または▽を押して数値を変更し、○を押します)。
- 新たな時間帯のところで○を押します。



- △を押して新たな終了の時刻を入力し、○を押します。
- △を押して基礎レートを入力し、○を押します。
- 必要に応じ、終了時間と基礎レートをさらに追加します。



- 完了を選択します。



- 基礎レートを確認します。



- 保存を選択します。

注: 設定値は一例です。  
実際の設定や数値の決定は、主治医にご相談ください。

# ポンプ操作の早見表

## 一時基礎レート

設定した期間[持続時間]について、即座に基礎インスリン注入量を増減させる機能です。運動時やシックディによく使われます。一時基礎レートは、パーセント(現在の基礎レートの設定パーセントの量を注入)またはレート(入力した量を注入)で設定することができます。

### 一時基礎レートの設定

- 1 ホーム画面で基礎レートを選択します。

- 2 一時基礎レートを選択します。

- 3 ▲を押して持続時間を設定し、  
○を押します。

- 4 次へを選択します

- 5 パーセントを選択します。

- 6 ▲または▽を押して現在の基礎レートを基準とするパーセント値を入力します。

注:レートを使用する場合は、タイプを選択し、その後でU/hrの数値を入力してください。

- 7 開始を選択します。

注:一時基礎レートを有効にしたため、ホーム画面には基礎(一時)と表示されます。基礎(一時)を選択すると、有効になっている一時基礎レートの詳細を確認することができます。一時基礎レートが終了すると、基礎レートは自動的に通常設定のレートに戻ります。

## 一時基礎キャンセル

一時基礎レートを設定した後で不要と判断した場合は、設定をキャンセルすることができます。

- 1 ホーム画面で基礎(一時)を選択します。

- 2 一時基礎キャンセルを選択します。

注:基礎レートは設定されたレートに戻っています。

## 複数の基礎レートパターン

複数の基礎レートパターンを設定することにより、異なる基礎レートが必要となる日常的なスケジュール変更(平日と週末、日勤と夜勤など)により簡単に対処することができます。

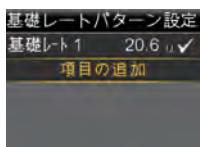
### 追加の基礎レートパターンを設定

- 1 ホーム画面で基礎レートを選択します。

- 2 インスリンの設定を選択します。

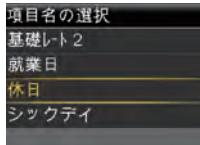
- 3 基礎レートパターン設定を選択します。

- 4 項目の追加を選択します。



- 5 使用したい名前を選択します。

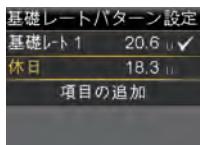
- 6 このパターンで必要な基礎レートを入力し、完了を選択します。



- 7 保存を選択します。



注:現在ポンプで使用中の基礎レートパターンは、横にチェックマークのついているものです。



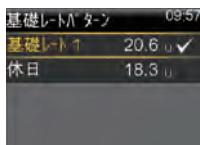
### 基礎レートパターンの選択

複数の基礎レートパターンを設定すると、有効にしたいパターンを選択できるようになります。

- 1 ホーム画面で基礎レートを選択します。

- 2 基礎レートパターンを選択します。

- 3 有効にしたい基礎レートパターンを選択します。



- 4 開始を選択します。



注:設定値は一例です。

実際の設定や数値の決定は、主治医にご相談ください。

## ボーラスウィザードに関する早見表

**ボーラスウィザードをオンにして設定**

- ① (○)を押します。
- ② インスリンの設定を選択します。
- ③ ボーラスを選択します。
- ④ ボーラスウィザードを選択します。
- ⑤ (▽)を押して、本文を読んでいきます。
- ⑥ 次へを選択します。
- ⑦ 糖質比の説明を確認し、次へを選択します。  
注: 例では、糖質比の設定を選択していますが、実際はexchangeの設定も可能です。
- ⑧ 時間帯のところで(○)を押します。
- ⑨ 糖質比が1つだけの場合は、(○)を押します。
- ⑩ (△)または(▽)を押して糖質比を入力し、(○)を押します。
- ⑪ 次へを選択します。
- ⑫ インスリン効果値の説明を確認し、次へを選択します。
- ⑬ 時間帯のところで(○)を押します。
- ⑭ インスリン効果値が1つだけの場合は、(○)を押します。
- ⑮ (△)または(▽)を押してインスリン効果値を入力し、(○)を押します。
- ⑯ 次へを選択します。

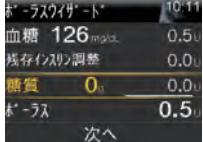
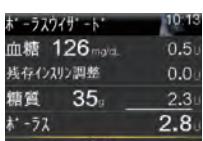
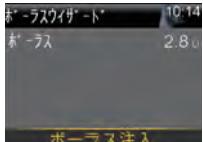
- ⑰ 目標血糖値の説明を確認し、次へを選択します。
- ⑱ 時間帯のところで(○)を押します。
- ⑲ 目標血糖値幅が1つだけの場合は、(○)を押します。
- ⑳ (△)または(▽)を押して低を入力し、(○)を押します。
- ㉑ (△)または(▽)を押して高を入力し、(○)を押します。
- ㉒ 次へを選択します。
- ㉓ 残存インスリン時間の説明を確認し、次へを選択します。
- ㉔ 持続時間を選択します。
- ㉕ (△)または(▽)を押して残存インスリン時間を入力し、(○)を押します。
- ㉖ 保存を選択します。

注: 設定値は一例です。  
実際の設定や数値の決定は、主治医にご相談ください。

# ポンプ操作の早見表

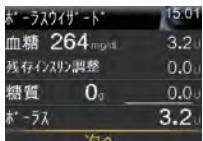
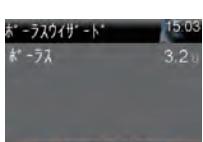
**食事及び補正ボーラスの注入**

- 血糖値を測定します。ホーム画面からボーラスを選択し、ボーラス ウィザードを選択します。
- 血糖を選択し、ⒶまたはⒷを押して血糖値を入力し、Ⓒを押します。
- 糖質を選択します。
- Ⓐを押して糖質量を入力し、Ⓒを押します。
- 次へを選択します。
- ボーラス注入を選択します。  
注: 残存インスリン調整は、補正用量で調整される(同用量から差し引かれる)前回のボーラスからの残存インスリンです。例では、差し引かれる残存インスリンはありません。

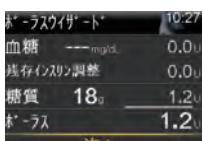
**補正ボーラスの注入-食事なし**

- 血糖値を測定します。ホーム画面からボーラスを選択し、ボーラス ウィザードを選択します。
- 血糖を選択します。ⒶまたはⒷを押して血糖値を入力し、Ⓒを押します。
- 食事なしなので糖質は0gとします。
- Ⓐを押して次へを選択します。
- ボーラス注入を選択します。  
注: 例では、調整すべき残存インスリンが存在します。  
この量が補正用量から差し引かれています。

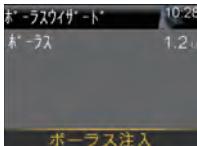
**食事ボーラスの注入-補正なし**

- ホーム画面からボーラスを選択し、ボーラス ウィザードを選択します。
- 糖質を選択します。Ⓐを押して糖質量を入力し、Ⓒを押します。



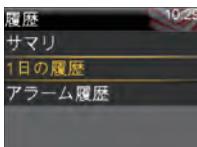
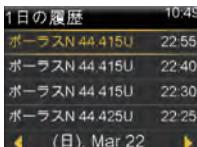
**ボーラス注入**

- 次へを選択します。
- ボーラス注入を選択します。  
注: 食事ボーラスでは残存インスリンの調整(差し引き)は行いません。



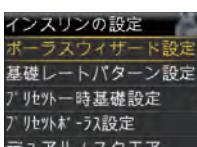
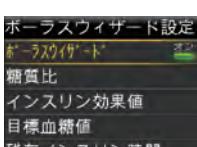
**ボーラス履歴の確認**

- Ⓐを押します。
- 履歴を選択します。
- 1日の履歴を選択します。
- 確認したい日を選択します。
- 履歴に記録されたボーラス注入が表示されます。

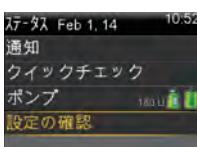
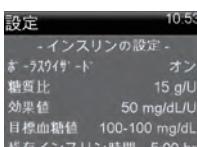
**ボーラス ウィザード設定の変更**

- ホーム画面でボーラスを押します。
- インスリンの設定を選択します。
- ボーラス ウィザード設定を選択します。
- 変更する設定を選択します。
- 変更を選択します。
- 時間帯のところでⒶを押します。  
ⒶまたはⒷを押して時間または数値(もしくはその両方)を変更します。
- 保存を選択します。

**ボーラス ウィザード設定の確認**

- ホーム画面でⒶを押し、ステータスバーを選択します。
- 設定の確認を選択します。
- Ⓑを押して設定リストをスクロールします。

注: 設定値は一例です。  
実際の設定や数値の決定は、主治医にご相談ください。

## クイックセット注入セットの交換

### 注入セットの交換

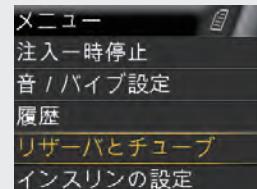
1

19



手をよく洗います。

2



①を押し、リザーバとチューブを選択します。

3

新リザーバ

加コ-レ充填

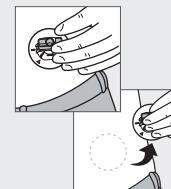
新リザーバを選択します。

4

新リザーバ

- 1.身体から注入セットを取り外してください。2.リザーバをポンプから取り外してください。

巻戻し



使用している注入セットを外します。

5

新リザーバ

- 1.身体から注入セットを取り外してください。2.リザーバをポンプから取り外してください。

巻戻し



使用済みのリザーバをポンプから取り出します。

6

新リザーバ

- 1.身体から注入セットを取り外してください。2.リザーバをポンプから取り外してください。

巻戻し

巻戻しを選択します。

7

新リザーバ

- 1.リザーバを充填して下さい。  
2.リザーバにチューブを接続して下さい。  
注：身体に接続しないで下さい。

次へ

リザーバにインスリンを充填し、注入セットのチューブを接続する準備をします。

次ページに続く →

# ポンプ操作の早見表

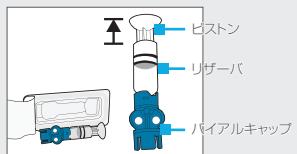


**重要：**気泡発生のリスクを低減するため、インスリンのバイアルは使用前に必ず室温に戻してください。

## リザーバにインスリンを充填し注入セットのチューブに接続

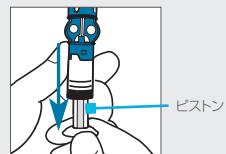
次の手順に従ってリザーバにインスリンを充填し、注入セットのチューブに接続します。

8



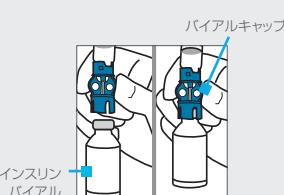
包装からリザーバを取り出します。気泡発生のリスク低減のため、インスリンのバイアルは必ず室温に戻します。

9



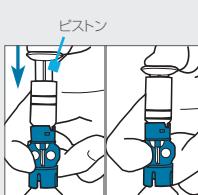
インスリンを充填したい位置までピストンを引きます。  
\*リザーバの1目盛はインスリン約20単位に相当。

10



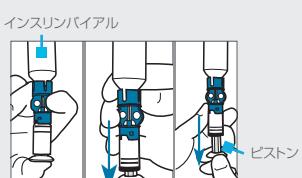
バイアルをアルコールで拭き、青いバイアルキャップをバイアルの上に強く押し付けます。

11



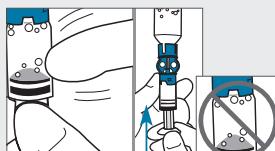
ピストンを押し込み、押し込んだままにします。

12



親指でピストンを押された状態で反転させます。親指を放し、ピストンを引いてインスリンを充填します。

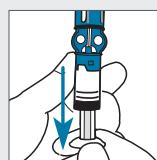
13



リザーバを軽く叩き、気泡をリザーバの上部に移動させます。ピストンを押して気泡をバイアル内に移動させます。

次ページに続く ➔

14



ピストンを引き戻し、2~3日分のインスリンを充填します。

15

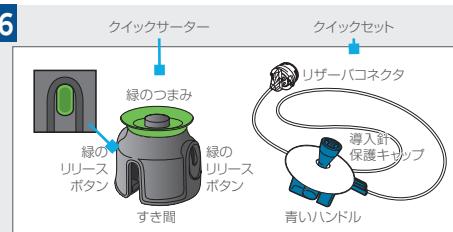


インスリンバイアルを垂直にした状態で下に持ち、バイアルキャップを押さえ、リザーバを反時計回りに回して真上に引き上げ、バイアルキャップから取り外します。

#### リザーバを注入セットに接続

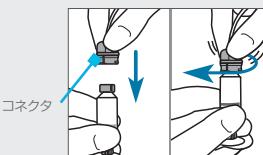
注入セット端部のリザーバコネクタにインスリンを充填したリザーバに接続します。

16



注入セットを包装から取り出します。チューブをひとまとめにしている保護シールを外します。

17



インスリンを充填したリザーバにコネクタをつなげます。コネクタをリザーバの上に軽く押し付け、時計回りに回してロックします。ロックされるとカチッというクリック感が確認できます。

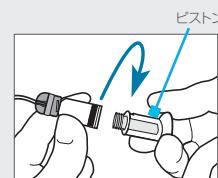
18



インスリンをチューブに少し出し、気泡が見えたたらリザーバを軽く叩き、気泡を上部に移動させてピストンを押して気泡をチューブ内に出します。

\*注入セット(コネクタ)とリザーバとが確実につながっていることを確認します。

19



ピストンを反時計回りに回して緩め、外します。

次ページに続く →

# ポンプ操作の早見表

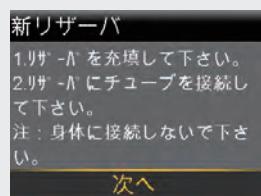
ポンプは省電力モードになっている場合があります。  
いずれかのボタンを押してポンプを「起動」してください。

20



選択が必要であれば、リザーバの取付けを選択します。

21

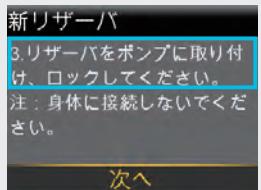


次へを選択します。

リザーバをポンプに挿入

インスリンを充填したリザーバをポンプのリザーバ挿入部に挿入します。

22



23



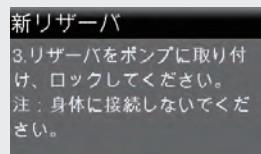
リザーバをポンプに挿入します。

24



リザーバが所定位置に固定された手応えを感じるまで、時計回りに回します。

25



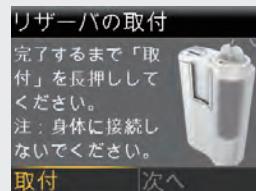
次へを選択します。

次ページに続く →

## リザーバを取付け、チューブにインスリンを充填

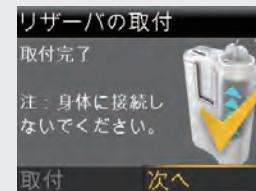
次の手順に従ってリザーバを取り付け、インスリンをチューブに充填します。

26



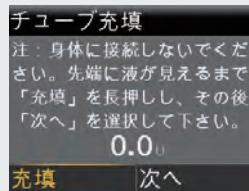
取付を選択し、◎を押し続けます。

27



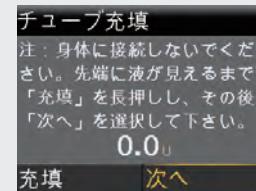
上の画面が表示されたら、次へを選択します。

28



充填を選択し、チューブの先端に液が見えるまで◎を押し続け、液が見えたら指を放します。

29



液が見えたら◎を押し、次へを選択します。

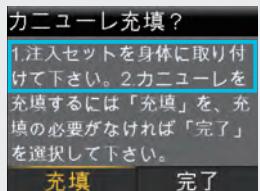
次ページに続く →

# ポンプ操作の早見表

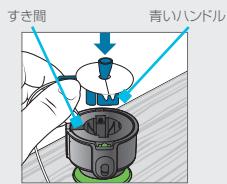
## 注入セットを挿入

次に、次の手順に従って注入セットを皮下に穿刺します。

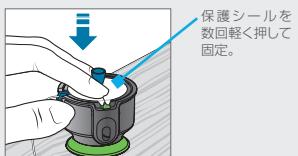
30



31

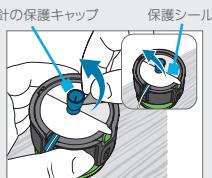


32



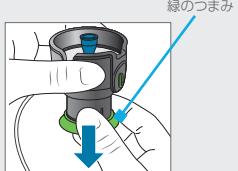
サーাを台の上に置いた状態で、クイックセットの保護シールを数回押して固定します。

33



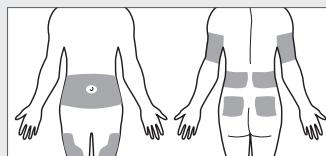
保護シールを剥がします。

34



カチッという音が聞こえるまで、緑のつまみを下に引きます。

35

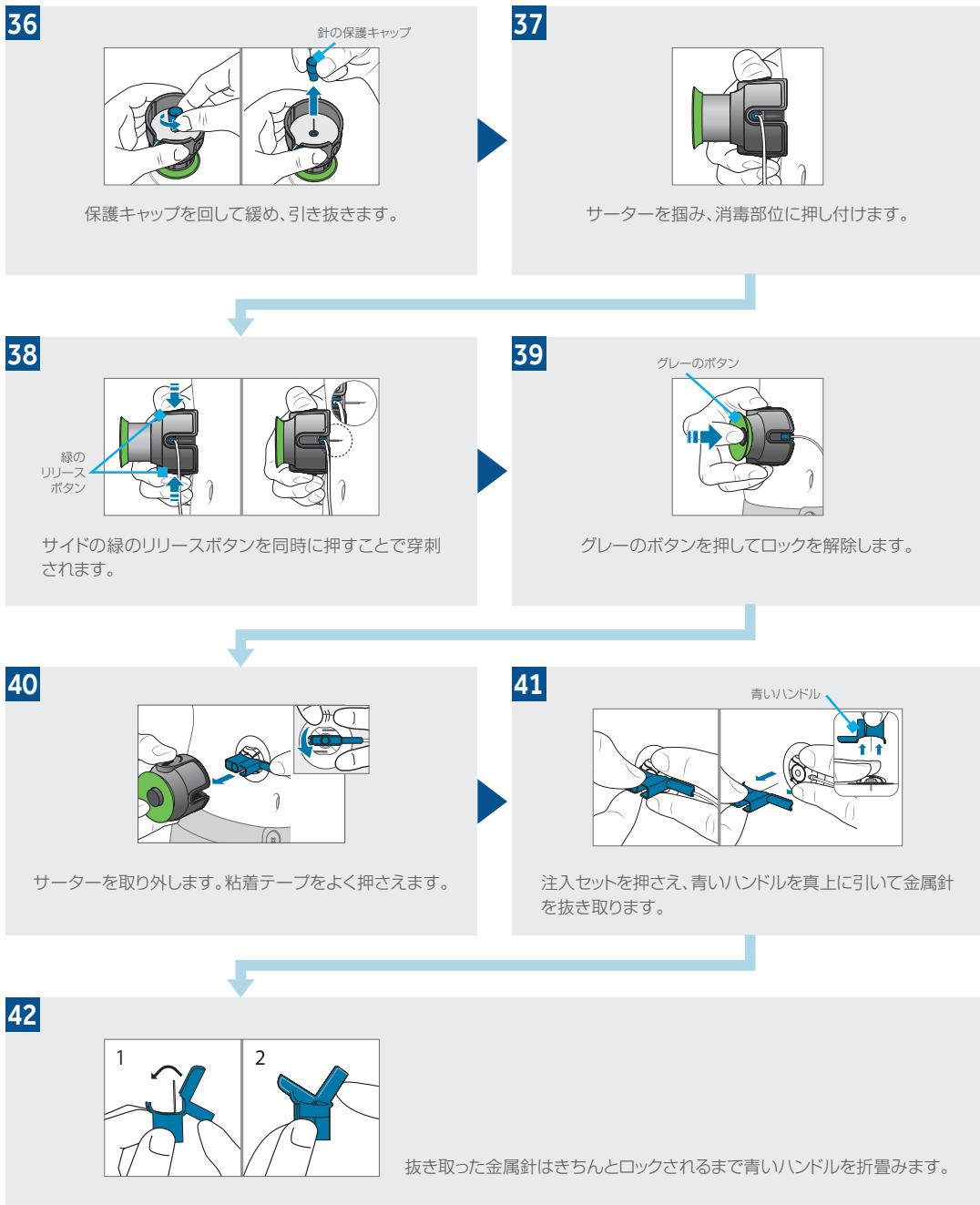


アルコールまたは消毒剤で穿刺部位を消毒します。



**重要：**注入部位は、皮下脂肪が十分な部分を選択し、皮膚が硬い部分は避けてください。

次ページに続く →



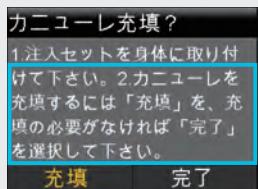
次ページに続く ➤

# ポンプ操作の早見表

## カニューレ充填

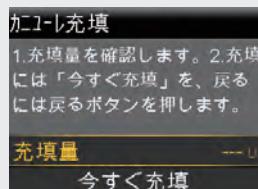
次に、皮下に留置したカニューレにインスリンを充填します。

43



充填を選択します。

44



充填量を選択し、次の量を入力します。

- 6 mmのカニューレ使用時は0.300U
- 9 mmのカニューレ使用時は0.500U

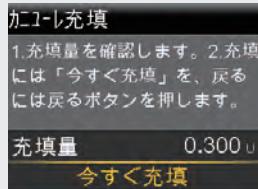
入力後、○を押します。



ポンプは、最後に使用した充填量を記憶しています。必ず注入量に間違いないことを確認してください。  
間違いかなければ、○を押して今すぐ充填を選択し、○を押します。

間違っている場合は、○を押して正しい数値に変更し、○を押します。今すぐ充填で○を押します。

45



今すぐ充填を選択します。

46



カニューレ充填が行われる間、ホーム画面には注入中のインスリン量が表示されます。



インスリン総注入量が間違っていることに気づいた場合など、充填を中止する必要な場合は、充填中止を選択し○を押します。

注入セット交換はこれで完了です。

## Memo

## Memo



## ■ 重要な注意事項

1. インスリンが確実に注入され、血糖がコントロールされていることを確認するため、少なくとも1日4回以上血糖自己測定をしてください。(注入セット交換2時間後とインスリンポンプの取り外し前後は必ず行ってください。)
2. 接続部の脱落や注入セットの屈曲・閉塞、薬液の漏れ、チューブ内の気泡がないことを確認し、インスリンが確実に注入されているかを常にチェックしてください。
3. インスリンポンプによるインスリン注入が出来ない場合(故障、水没、落下、注入セットトラブルなどの緊急事態)に備え、**緊急セット(他のインスリン注射手段)を必ず携帯してください。**ご家族の方へも緊急セットの保管場所をお知らせください。
4. インスリンポンプは精密器械です。取り扱いには十分ご注意ください。  
(落下・水没に注意し、高温・多湿などの環境下で保管しないでください。)
5. X線、CTスキャン、MRIその他検査や治療を受ける場合は、インスリンポンプを使用していることを医師や看護師、検査技師へお伝えください。
6. 低血糖・高血糖など体調に異変があった場合、ただちに医療機関へご連絡ください。(かかりつけの医療機関から離れた場所へお出かけの際には、糖尿病カードなどで自身が糖尿病であることが証明できるものをご持参ください。)
7. 緊急事態の対処方法をあらかじめ主治医と決めておいてください。

## ■ このような場合は（かかりつけの）医療機関へご連絡ください。

- 高血糖や低血糖などの症状が疑われるなど、医療行為が必要と判断されるような場合
- インスリンポンプの設定において、インスリン量など治療に関するご相談が必要な場合
- 患者さんやご家族による対処が困難な場合
- 注入セットなど付属品が無くなった場合(ご注文やご発送依頼)
- 物品の故障が明らかにわかる場合

インスリンポンプやリアルタイムCGMの使用方法、アラーム対処などのトラブルでお困りのときは下記へご連絡ください



日本メドトロニック  
24時間サポートライン

コール ミニ コール

0120-56-32-56



製品の使用方法やよくある質問などをご紹介しています。

[www.medtronic-dm.jp/](http://www.medtronic-dm.jp/)

パソコン、スマートフォンやタブレット端末からもアクセスできます。



# Medtronic

日本メドトロニック株式会社

ダイアビティス事業部

〒108-0075 東京都港区港南1-2-70

[medtronic.co.jp](http://medtronic.co.jp)

使用目的又は効果、警告・禁忌を含む使用上の注意等の情報につきましては製品の添付文書をご参照ください。

©2018, 2019 Medtronic.